小中学校における児童生徒のリーダーシップ及び男女共同参画に関する調査

最終報告書

令和２年３月

大津市

目次

Ⅰ．調査の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
　１．調査の目的
　２．調査概要
　３．配布・回収結果
　４．総括

Ⅱ．調査結果（小中学生票）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

Ⅲ．調査結果（教員票）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

資料：調査票 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

Ⅰ．調査概要

１．調査の目的

大津市内の小中学生及び教員を対象に、学校現場におけるジェンダーギャップやリーダーシップに関する意識調査・分析を実施し、女性がリーダーシップを発揮しにくい現状の背景を考察するとともに、女子学生や女性のエンパワーメントに向けて必要な施策の検討に活用することを目的として実施しました。

２．調査概要

（１）調査地域　大津市内全域
（２）調査対象　大津市立小学校４・６年生、中学校２年生、教員
（３）抽出方法　小学校：政策的な地域ブロックによる層化を行い、地域ブロック別の在学者比率に応じて対象校を抽出し、対象校の調査対象者の全数を調査。
中学校：抽出された小学校の進学先の中学校を抽出し、対象校の調査対象者の全数を調査。
教員　：抽出された学校に所属する常勤の教員の全数を調査。
（４）調査方法　対象校内における調査実施・回収
（５）調査期間　令和元年７月９日～７月 19 日

３．配布・回収結果

	配布数	有効回収数	有効回答率
小学校４年	６９９件	６９２件	９９．０％
小学校６年	７１６件	７１２件	９９．４％
中学校２年	１，１８２件	１，１３０件	９５．６％
小中学生合計	**２，５９７件**	**２，５３４件**	**９７．６％**
小学校教員	２４７件	２０８件	８４．２％
中学校教員	２５２件	２３８件	９４．４％
教員合計	**４９９件**	**４４６件**	**８９．４％**

４．総括

⑴　背景

２０１９年に世界経済フォーラムが発表した「ジェンダーギャップ」指数によると、日本は昨年より大きく順位を下げ、１５３か国中１２１位、先進国首脳会議（Ｇ７）の中では、最下位という結果となっています。

また、本市教育委員会の調査において、本市内の市立中学校では、「女子生徒の生徒会長が極めて少ない。」（１１％）という実態から、思春期における要因を探り、女性がリーダーシップを発揮できない背景を分析するとともに、その課題解決に向けた取組を検討するため、当該アンケート調査を実施しました。

⑵　小・中学校用アンケート調査結果

- 生徒会長、副会長の就任について、中学生の回答では、「男子、女子どちらでも良い」が約８０％を占めていますが、年齢が上がるにつれて、会長は「男子」、副会長は「女子」と回答する割合が高くなっています。
- 生徒会長への就任希望について、中学校では、１０％程度まで落ち込む結果となっていますが、就任を希望する比率は、女子生徒の方が高くなっています。
  なお、就任を希望しない中学生の理由として、男子は“興味がない”（約６０％）、女子は“目立ちたくない”（約４７％）と回答する割合が高くなっています。
- 生徒会長の選び方については、年齢が上がるにつれて“全校生徒による選挙”を最も多く回答（中学生約６５％）しています。
- 自己認識の設問“失敗を恐れて迷う”について、男子、女子とも、年齢が上がるにつれて、悩む傾向は減少していきますが、女子の方が、悩む傾向は高くなっています。
- 自己認識の設問“みんなと違っても自分が考えた通りにする”について、学年が上がるにつれて、比率は減少していきますが、男子は「該当」し、女子は「該当しない」という傾向にあります。

以上のことから、女子は、「リーダーシップを発揮したい」という気持ちを持っているものの“目立ちたくない”“失敗回避”、また、“自己の意思（信念）”が男子より低いことなどから、生徒会長が少ない要因になっているものと推測されます。

⑶　教職員用アンケート調査結果

生徒に対する性別役割意識は、殆どありませんが、女子の生徒会長が少ない主な理由として、“女子は目立つことを好まない”など、小・中学生用のアンケート調査どおりの結果となりました。

⑷　課題解決のための取組

「リーダーシップを発揮したい」という気持ちを持っている児童生徒が、性別に関わらず自分の意思を率直に行動に移せる機運や環境をつくることが必要であると考えられます。

このことから、児童生徒の「自尊感情」や「自己肯定感」を高めるとともに、自分の可能性を限定せずに、主体的に進路や職業を選択する能力を身につけるためのキャリア教育が大切になってきます。

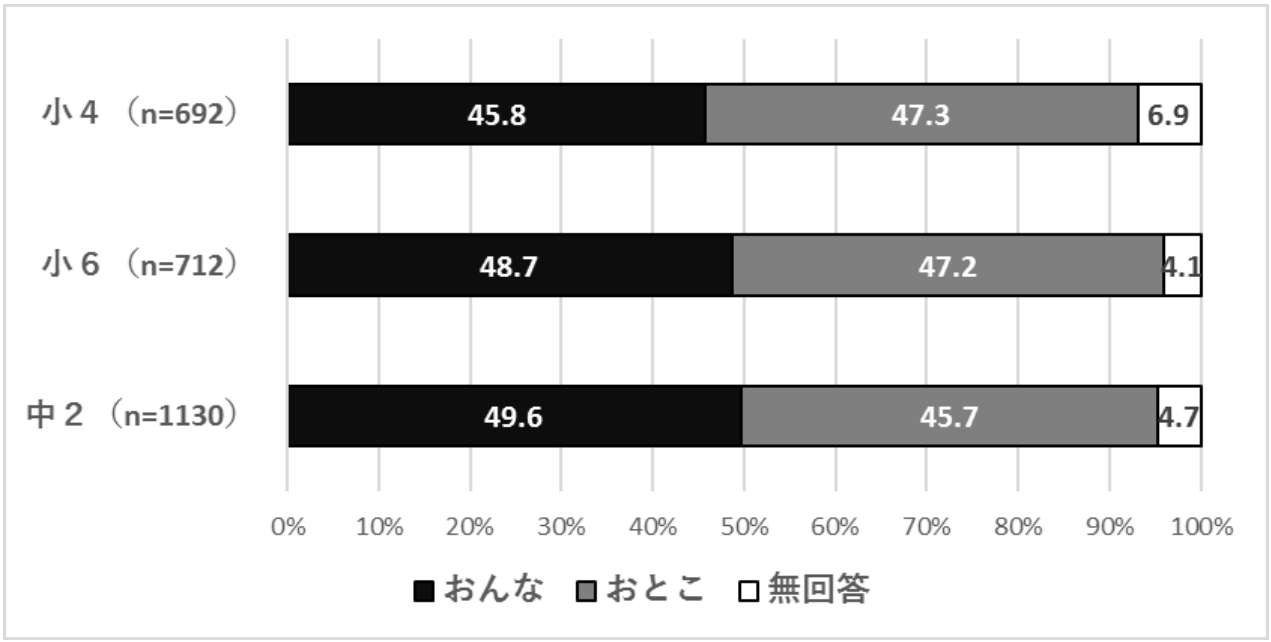
今後、小中学校では、国による「キャリア・パスポート」を活用し、子どもたちが小学校段階から将来就きたい職業や自分の生き方などについて考え、性差なくその実現に繋げられるようキャリア教育を進めていきます。

また、市民を対象とした「自尊感情」や「自己肯定感」を高めるコミュニケーションを学ぶセミナーを開催するなど、意識啓発に取り組んでいきます。

Ⅱ．調査結果（小中学生票）

1　あなたの性別にあてはまる数字を○でかこんでください。

小４・小６・中２のどの集団においても、回答者の男女比はほぼ１：１であった。ただし、性別を回答しない児童・生徒も５％前後いた。

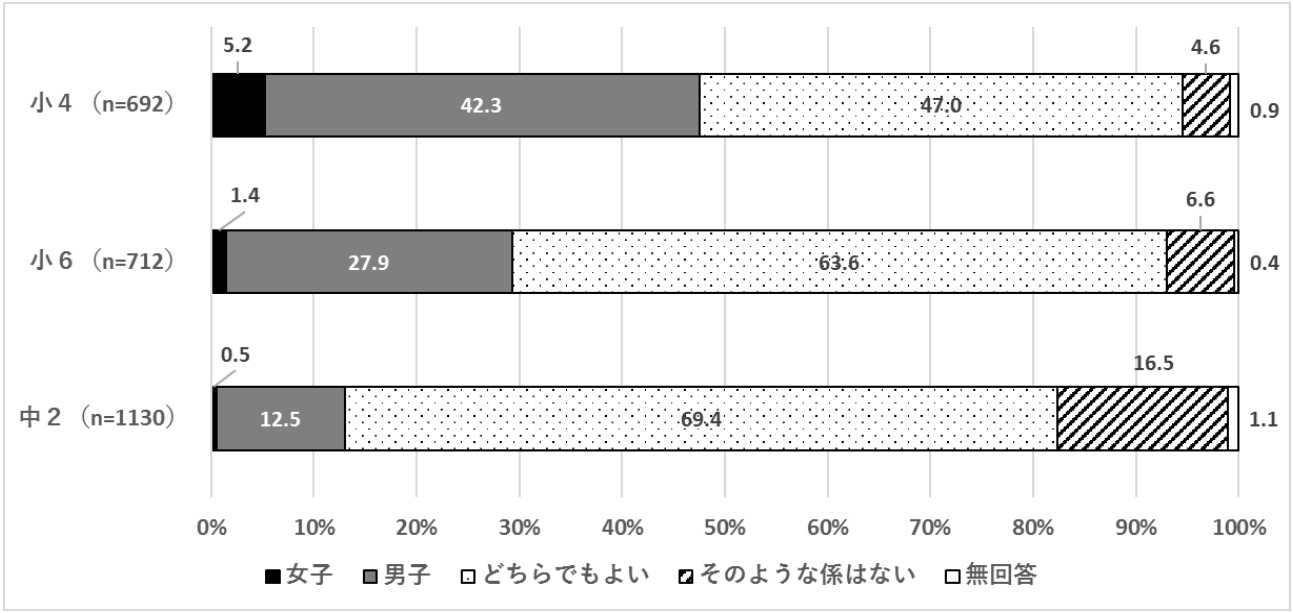


2　あなたの学校のそれぞれの係について、女子と男子とどちらが良いと思いますか。あてはまる数字１つを○でかこんでください。

学校における役割（体育係、保健係、図書係、児童／生徒会会長、児童／生徒会副会長）について期待する性別を尋ねたところ、全体的に「どちらでもよい」と考える児童生徒が一定数はいる。しかし期待する性別がある児童・生徒についてみると、体育係・保健係については、特に小学校では体育係は男子、保健係は女子というジェンダーステレオタイプが強くみられる。一方で児童／生徒会の会長や副会長については、小学校では期待する性別に差がないものの、中学校では会長は男子、副会長は女子の役割だと考えている生徒のほうが多いことが明らかになった。

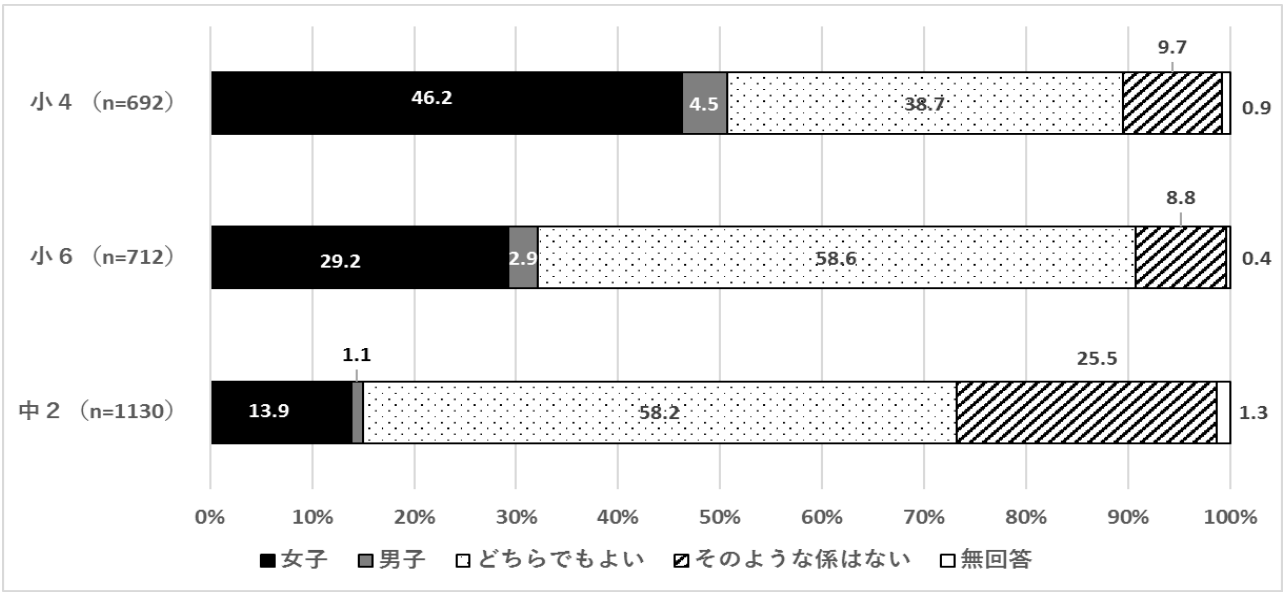
【体育係】

・体育係は男子の役割だと考える児童が多いが、学年が上がるにつれてその傾向は弱まっていく。特に中２では、「どちらでもよい」と回答する生徒が 69.4％と大多数をしめている。



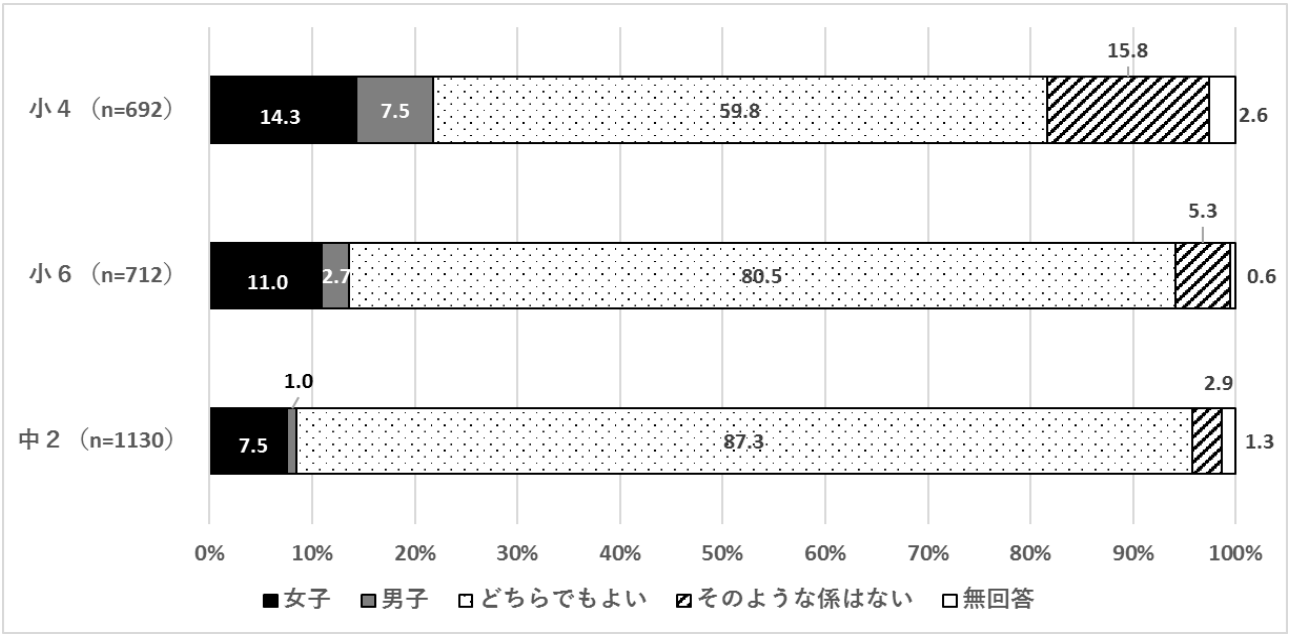
【保健係】

・保健係は女子の役割だと考える児童が多いが、学年が上がるに連れてその傾向は弱まっていく。体育係が男子の役割だと考える児童・生徒の割合とほぼ数値が対応関係にある。



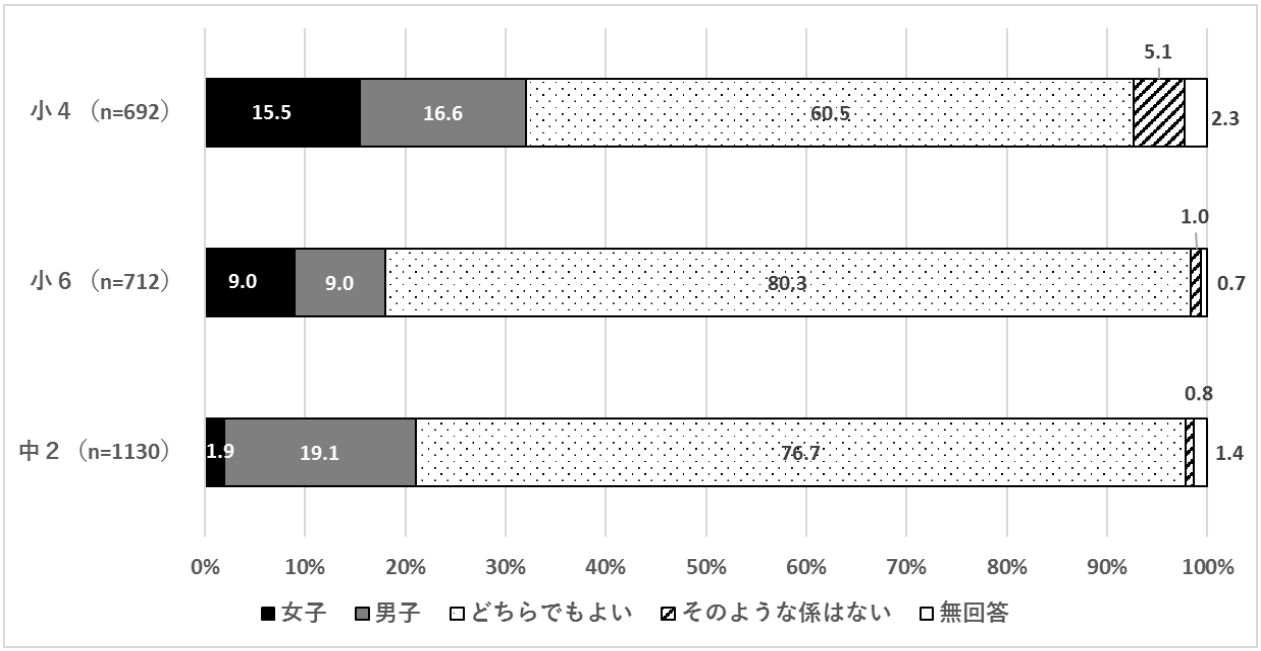
【図書係】

・図書係は、どの学年を見ても、「どちらでもよい」と考える児童生徒が多く、学年が上がるにつれてその傾向は強くなる。ただし、女子か男子か回答している児童生徒の割合に注目すると、女子の役割だと考える児童生徒のほうが多いようだ。



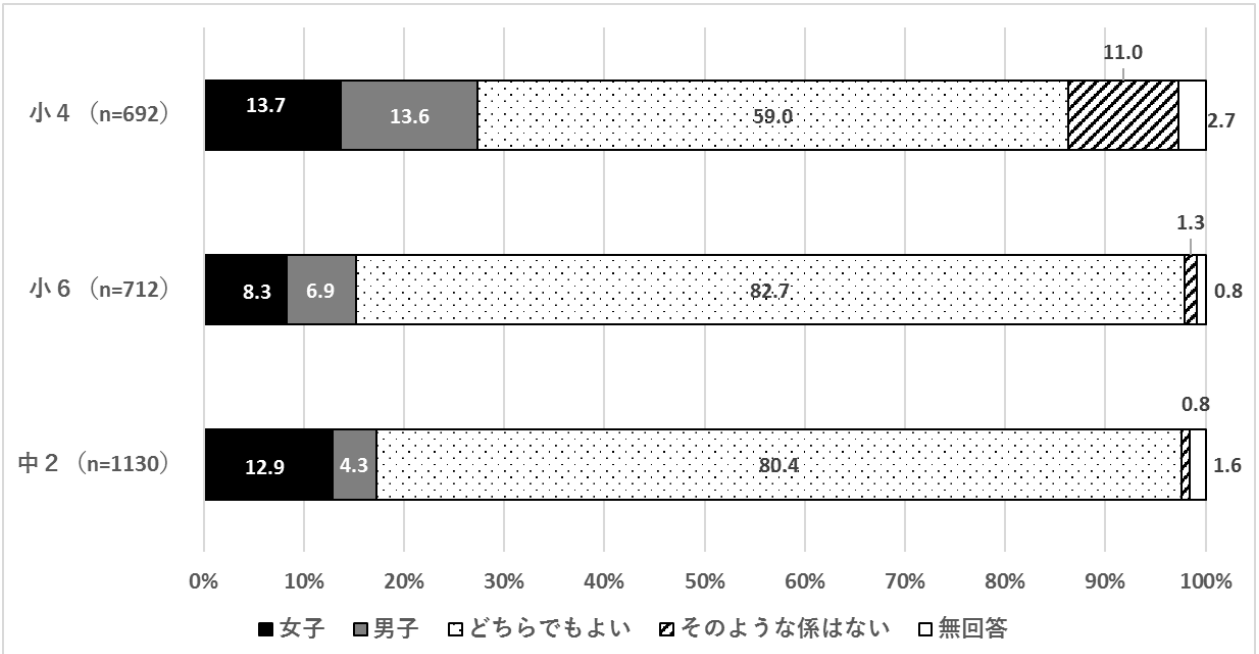
【児童会長（小学校）・生徒会長（中学校）】

・会長については全体的にどちらでもよいと考える児童生徒が多い。ただし、女子か男子か回答している児童生徒の割合に注目すると、小学校では男女が半々なのにたいして、中学生になると、「会長は男子」だと考える生徒が 19.1%と、「会長は女子」と考える生徒の 1.9%を大幅に上回っている。



【児童会副会長（小学校）・生徒会副会長（中学校）】

・副会長についても、会長と同じく、全体的にどちらでもよいと考える児童生徒が多い。ただし、女子か男子か回答している児童生徒の割合に注目すると、小学校では男女が半々なのに対して、中学生になると、「副会長は女子」だと考える生徒が 12.9%であり、「副会長は男子」と考える生徒の 4.3%を大きく上回っている。

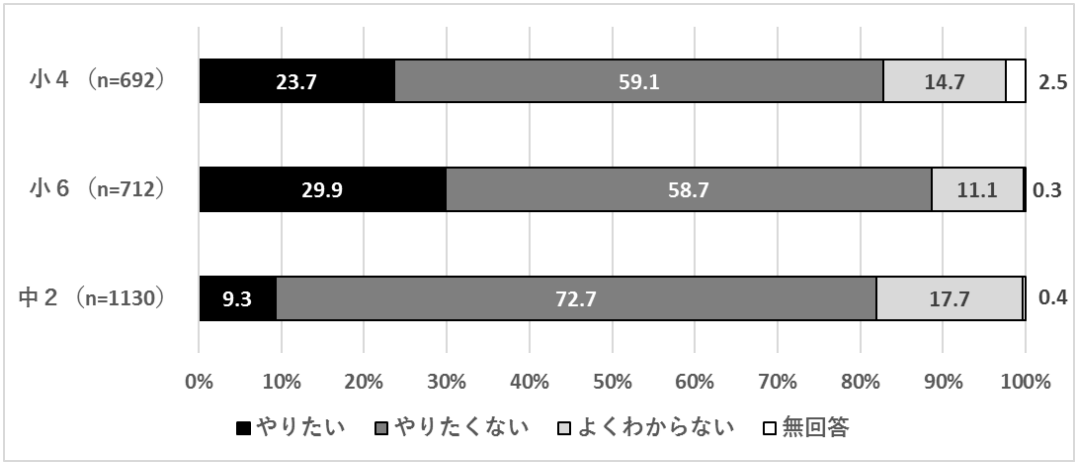


3　もし生徒会の会長をするチャンスがあれば、あなたはやりたいと思いますか。あてはまる数字１つを○でかこんでください。

児童会／生徒会の会長希望は小学生に多く小４で２割程度、小６で３割程度の児童が希望している。特に女子児童のほうが男子児童より１０ポイントほど高い結果となった。中学生になると会長希望は１割前後であるが、現実では男子のほうが多いのに対して、潜在的な意欲では男女による差はみられないことが明らかとなった。

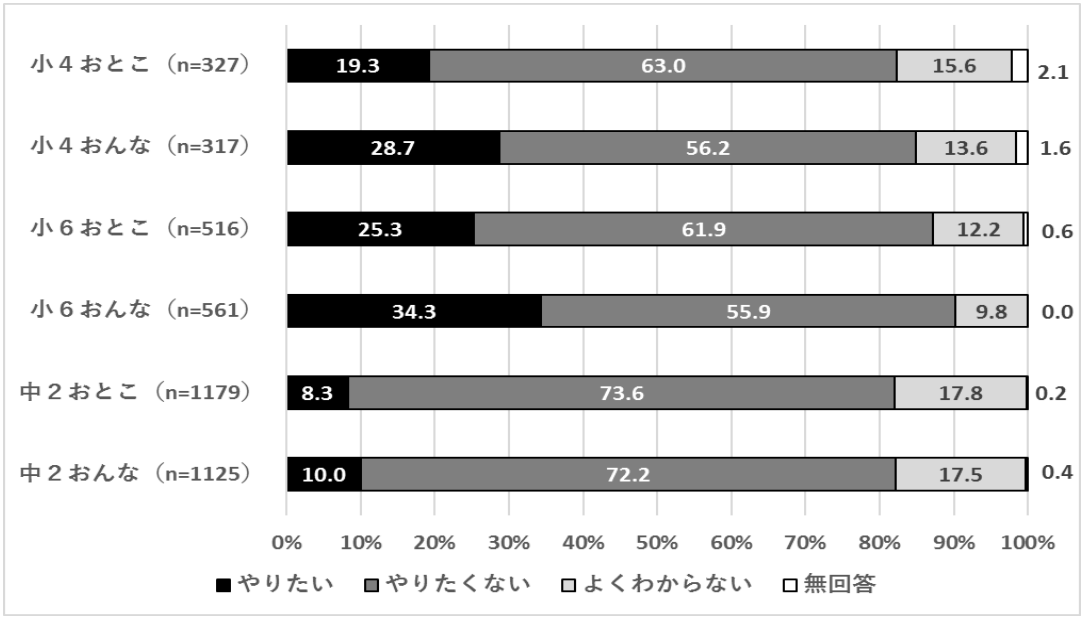
【全体】

・「やりたい」と考える児童は小４で約２割、小６で約３割いるが、中２では１割にとどまる。さらに中２では約７割の生徒が「やりたくない」と考えている。



【性別】

・会長希望について回答者の性別でみると、女子の方が「やりたい」と考えており、特に、児童会長に積極的な傾向がある。



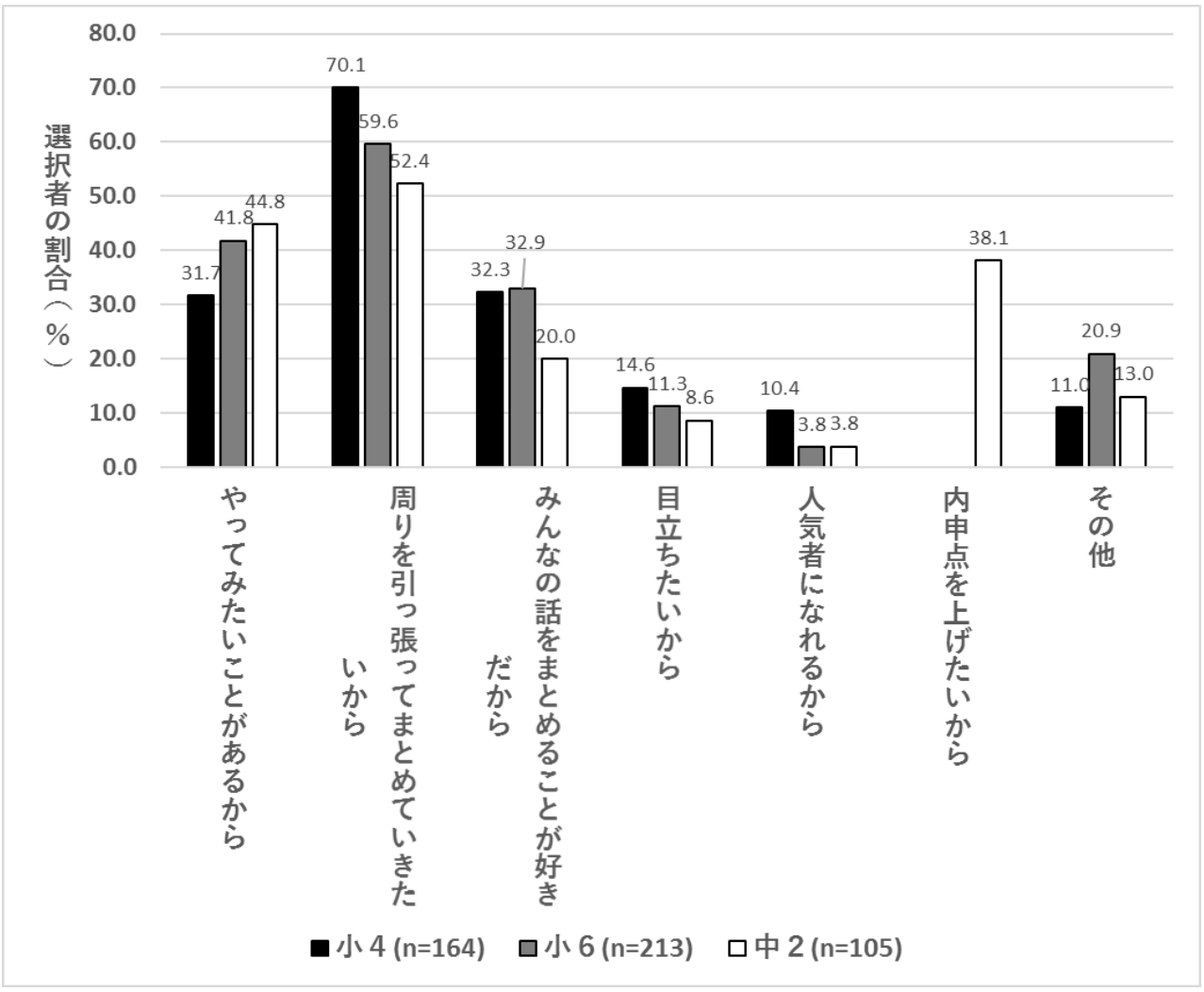
4 「やりたい」と答えた理由について、あてはまる数字すべてに○をしてください。

会長をやりたい理由について尋ねたところ「周りを引っ張ってまとめていきたい」がどの学年でも最も多く、次いで「やってみたいことがある」が他の理由に比べて選ばれやすいという結果となった。

【全体】

・問３で「やりたい」と回答した児童生徒に対して、その理由について複数回答で尋ねたところ、全ての学年において「周りを引っ張ってまとめていきたいから」が最も多いという結果となった。しかし、学年が上がるにつれて下がっていく傾向がある。一方で、学年が上がるにつれて、「やってみたいことがあるから」の理由が増えている。小学校ではリーダーシップへの漠然とした興味があるのに対して、年齢が上がるにつれて、具体的な目的をもって会長を志望するようになるからかもしれない。

・「目立ちたい」「人気ものになれるから」といった、児童・生徒会長という役割に対して本質的ではない理由でなりたいと考えている児童生徒は少数である。



注）「内申点を上げたいから」は中学生票のみ

【その他の回答の内訳】

小４
- みんなの役に立ちたいから…４件　・リーダーになりたいから…２件
- みんなと話すのが好き…５件　・楽しそう、その他…８件

小６
- みんなの役に立ちたい…７件　・リーダーになりたい…４件
- 自分のためになる…１１件　・興味がある…１０件
- あこがれがある…３件　・自信がある…５件　・その他…５件

中２
- みんなの役に立ちたいから…２件　・興味がある…５件　・その他…６件

【性別】

・学生が上がるにつれて、男女とも「やってみたいことがあるから」が増え、特に男子よりも女子の方が「やってみたいこと」を理由に生徒会長を希望するようだ。

・各学年における性差に着目すると、小４では男子は「やってみたいことがあるから」、女子は「周りを引っ張ってまとめていきたい」と回答する傾向にあり、性差が明確である。ただし、この傾向は学年が上がるにつれて性差はなくなり、中２では「やってみたいことがあるから」と「周りを引っ張ってまとめていきたい」は約半数の人が選んでいる。

・「目立ちたい」についてみると、小４では女子の方が多く回答しているが、小６と中２では男子の方が多く回答をしており、女子の選択率は学年が上がるごとに低下している。

・内申点については中２でのみ尋ねているが、男女ともに約４割弱と、性差は見られない。

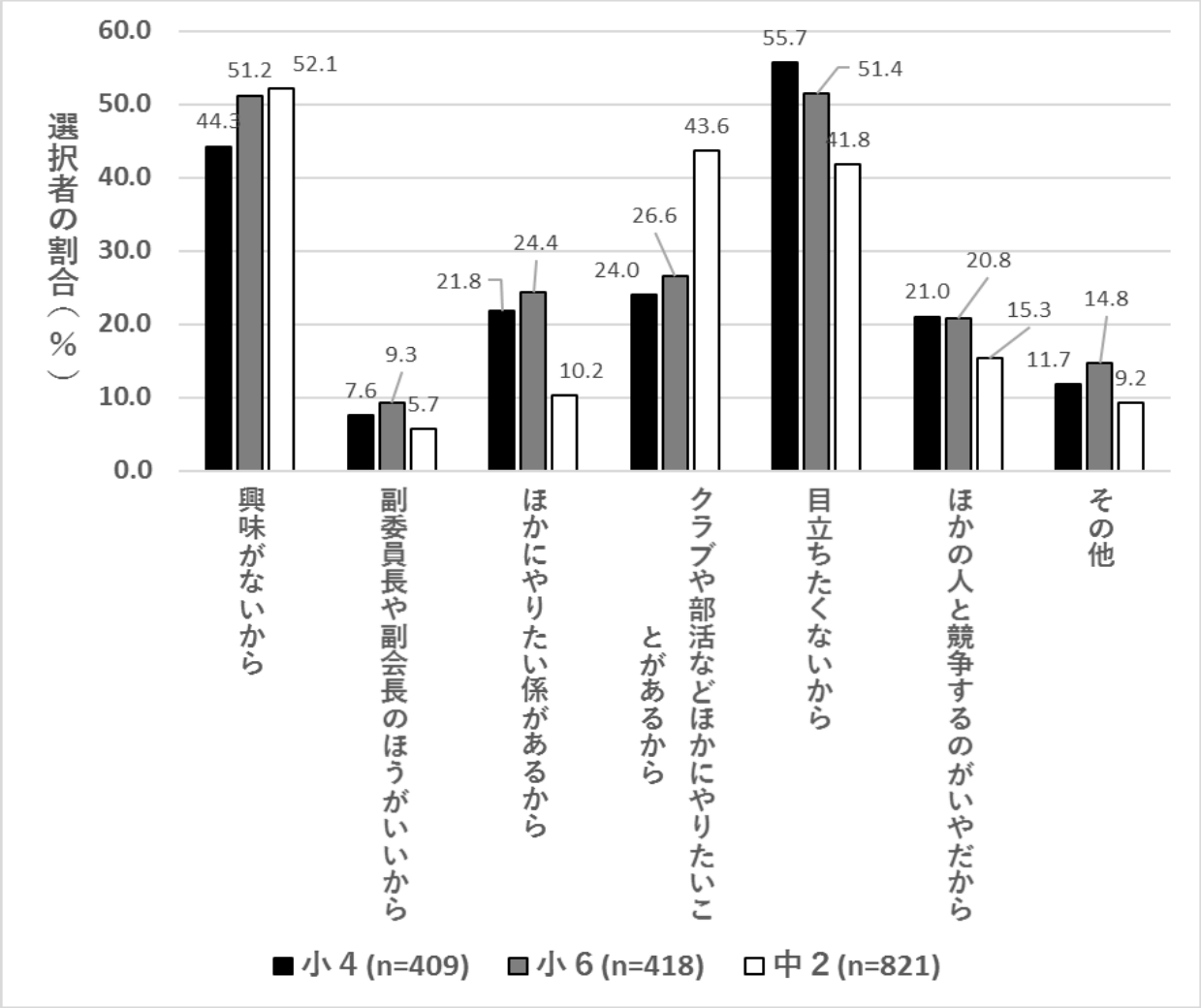
	小４		小６		中２	
	おんな	おとこ	おんな	おとこ	おんな	おとこ
やってみたいことがあるから	22.0%	44.4%	41.2%	45.2%	42.9%	48.8%
周りを引っ張ってまとめていきたいから	81.3%	61.9%	61.3%	57.1%	51.8%	51.2%
みんなの話をまとめることが好きだから	36.3%	30.2%	35.3%	29.8%	14.3%	27.9%
目立ちたいから	17.6%	9.5%	5.9%	19.0%	3.6%	14.0%
人気者になれるから	9.9%	9.5%	1.7%	6.0%	3.6%	4.7%
内申点を上げたいから	-	-	-	-	39.3%	37.2%

5 「やりたくない」と答えた理由について、あてはまる数字すべてに○をしてください。

「興味がない」と「目立ちたくない」がやりたくない人の２大理由となっており、いずれも４割～５割程度の児童生徒が理由としてあげている。副委員長や副会長を積極的にやりたいという理由を挙げる人は１０％以下と少なかった。

【全体】

・小学生と中学生を比べると、小学生は「ほかにやりたい係があるから」が中学生よりも会長をやりたくない理由に上がりやすい。一方で中学生は「クラブや部活」が小学生よりも会長をやりたくない理由に上がりやすい。



【その他の回答の内訳】

小４
・めんどうくさいから…１２件　・はずかしいから…１０件
・自信がない／能力がないから…７件　・責任が重いから…４件　・その他…８件

小６
・めんどうくさいから…９件　・はずかしいから…９件
・自信がない／能力がないから…１６件　・その他…７件

中２
・めんどうくさいから…２５件　・はずかしいから…１１件
・大変／難しいから…５件　・責任が重いから…５件　・時間がないから…５件
・その他…１５件

【性別】

・どの学年においても男子は女子に比べて「興味がない」と回答する傾向があり、学年間に差はほとんどみられない。一方、女子は男子に比べて「目立ちたくない」ことを理由に上げる人が多いが、その傾向は小４で強く、学年が上がるにしたがって低下していく。中２の女子は、小学校のときに比べると、クラブや部活への興味関心へと変化している。

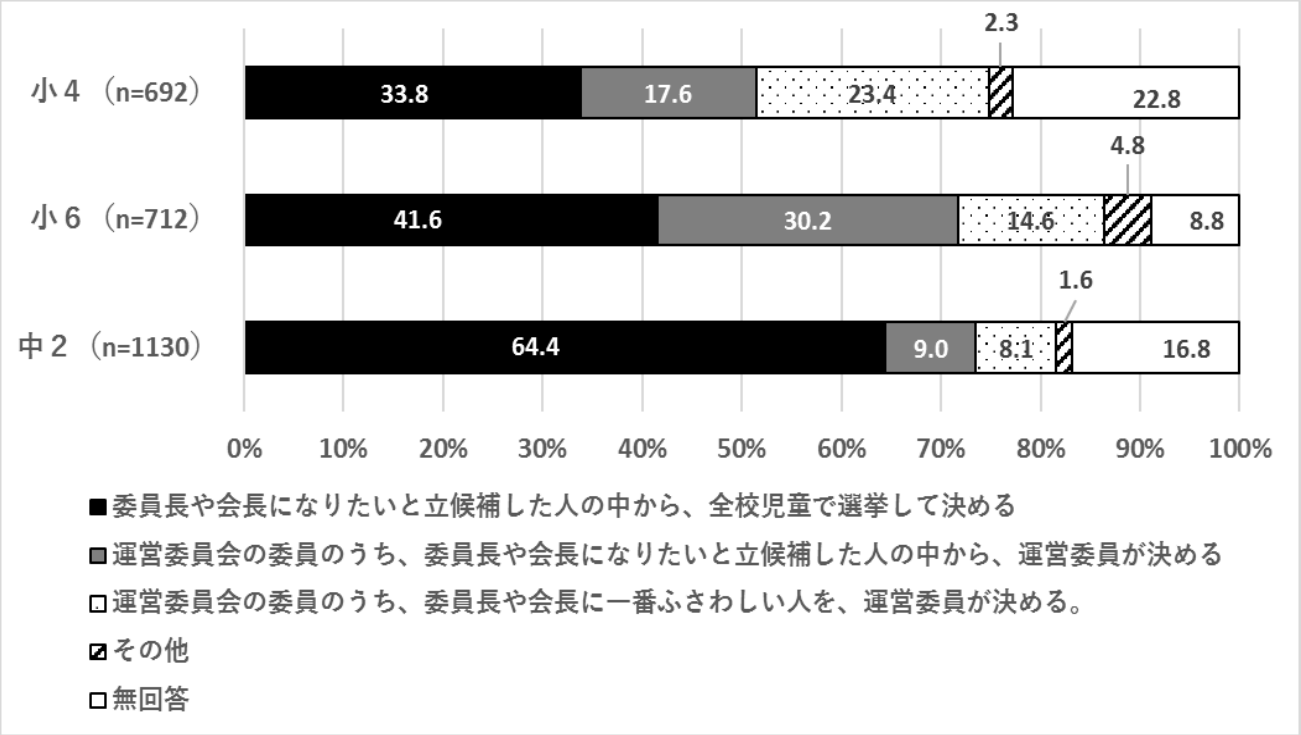
・男女で差がある他の点について、「副委員長がよい」という意見については、男子も女子も回答が少なく差も小さいが、中２では女子の方が男子に比べて選択する傾向がある。また、中２の女子は男子に比べると競争を嫌がる傾向がある（ただし、全体の中では回答している人は多くないことに注意が必要）。他の係、クラブや部活といった児童会／生徒会活動に競合する活動については、性による差はみられない。

	小4		小6		中2	
	おんな	おとこ	おんな	おとこ	おんな	おとこ
興味がないから	27.7%	57.8%	42.3%	60.6%	46.3%	58.9%
副委員長や副会長のほうがいいから	9.8%	5.4%	10.3%	8.7%	7.7%	3.7%
ほかにやりたい係があるから	24.3%	20.1%	23.2%	25.5%	9.2%	11.6%
クラブや部活などほかにやりたいことがあるから	23.1%	25.5%	23.7%	28.8%	43.5%	43.2%
目立ちたくないから	69.9%	47.1%	59.3%	45.2%	46.8%	36.6%
ほかの人と競争するのがいやだから	21.4%	20.6%	22.2%	20.2%	17.9%	12.4%

6 生徒会の会長を誰もが気軽に「やってみたい」と思える選び方について、あてはまる数字１つを〇でかこんでください。また、そう思う理由について書いてください。わからない時は、書かなくてかまいません。

児童会／生徒会の会長を誰もが気軽に「やってみたい」と思える選び方について尋ねたところ、高学年になるにつれて「全校での選挙」を選択する割合が多くなり、中学校では約６割を占めている。

・小４では「運営委員の中の互選」が比較的多い傾向があるが、それでも３割は「全校での選挙」を選んでいる。また小６では「運営委員の中で立候補した人から運営委員が決める」というやり方を選択した人が比較的多く、この傾向は他の学年では見られない。各校での現行で行われている選ばれ方が影響しているのかもしれない。



【その他の自由記述：小４】

その他の選び方	理由
じゃんけん	・じゃんけんしているのをみたことがある ・じゃんけんは運だから。 ・そうじゃないとなんなんとかいってもんくをいわれるから。 ・自分のせきにんだから
順番を決めてその順にしていく	１、２、３では人気物の人が選ばれたりして不公平だから

いきごみをゆってもらってみんなにきめてもらう。	どんなにやるきがあるかがわかるから。
なりたいと立こうほした人のなかでふさわしい人をきめる。	気がない人がやってもいみがないし、しっかりとした人じゃないと、みんなをまとめられない
くじびきき決める。	くじびきだったらすぐきまるから。
りっこうほした人たちは、そうだんしたりしてきめる。	そうだんするとだれもがなっとくするようにりゆうをゆってくれるから。
みんなで話し合って決める。	
多数決がいいと思います。	1はせんきょをすると時間がかかるから。1年生がやりにくそうだから多数決がいいと思います。

【その他の自由記述：小6】

その他の選び方	理由
じゃんけん	・いつもじゃんけんでやってるから ・1、2、3だと仲が良い人に手を挙げて、不公平だと思うから。 ・自分で出した手だから ・そっちのほうが、こうりつがいい ・やりたい人が多ければジャンケンできめるのがいちばんはやいと思う。 ・公平だから ・どうでもいい！ ・上の3つは、不公平だから ・じゃんけんだとうまくいくから
立候補した人の中から、先生達が決める。	ふこうへいがないから。
実際に、委員会の仕事をやらせる。やる気、性格、考え方	1だと、人気者が会長などになってしまう。2も、1と同じになる。3は、やりたくない人がえらばれたり、やりたい人ができないのは、おかしい。やる気があるか、性格、など大切。
なりたい人のなんでやってみたいのかをきいてから3のようにする	運営も見ためや好ききらいできめる人がいそうで不公平だから。
やりたい人がくじ引きで気める。	こう平だから
委員長などの差を無し、全て決める	せきにんが重たくかんじるから
やってみたいと思う人にやらしてあげる	やってみたいとちょう戦しているから。
委員長や会長になりたいと立こうほした人の中から運営委員が決める。	全校児童で決めるのは、気転に思えないし、運営委員の人しか選ばれないのは、不公平だから。
一回会ぎをしてから一番まとめるのを上手だった人に決める。	まとめるのが上手な方がいいから。

やりたい人がいきごみを言って全員で多数決で決める	こうへいだから。
５年生以上で委員長は立候補した人の中から、全校児童で選挙して決める	この学校は、委員会は５年生からなので、５年生以上。運営委員の人だけだと、意見が少ないから、全校児童で選挙して決める。
やってみたい人が集まりみんなで少し分かれて話しあう。	みんなの前でやりたいということを言うのがはずかしくていいたくてもいえない人がいることをしっているから。
その所、その所で挙手して上げる	きぼが大きすぎても、プレッシャーだし、大きなきぼでするひつようがないから
クラスの人でたすうけつをしたらいいと思う	その人たちが、自分の仲がいい人をえらんだりするのでやりたい人が理由を言ってそこからたすうけつをしたらいいと思います。
やりたい人のうち、その理由など紙にかいて発表してみんなが決める	発表してするのは平等だから、みんながきめるのも平等。

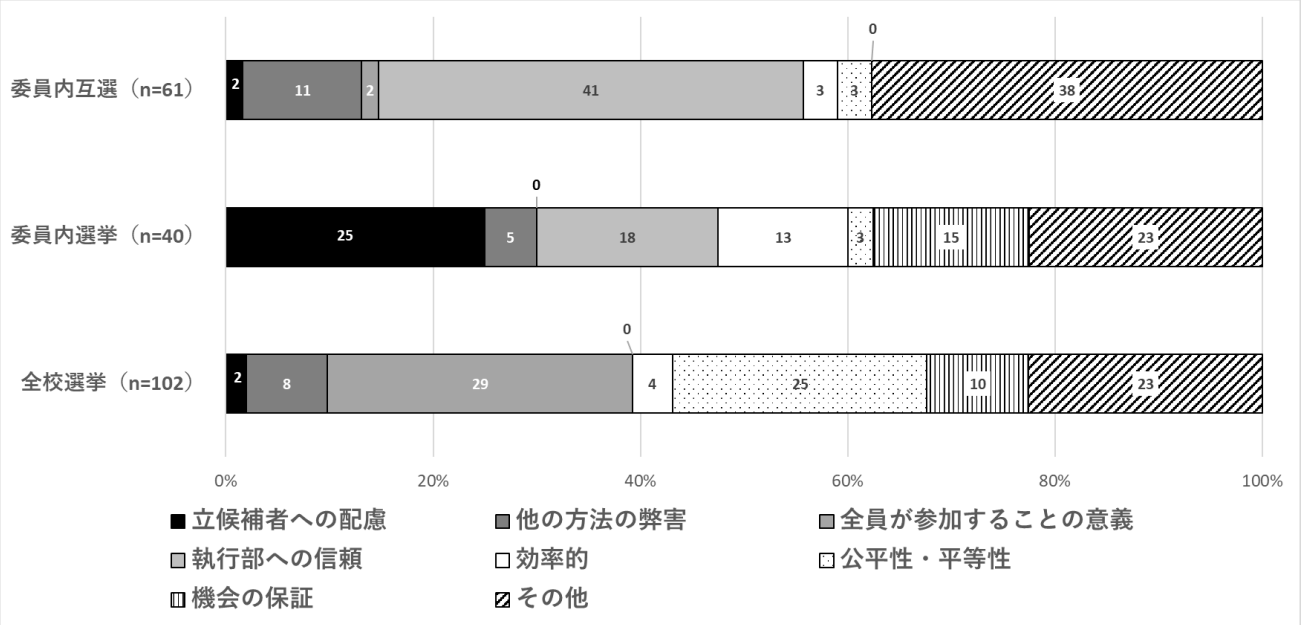
【その他の自由記述：中２】

その他の選び方	理由
生徒会執行部員のうち、会長に一番ふさわしい人を、生徒会執行部員一人が推せんし、推せんされた人および生徒会執行部員の半分以上が会長推せんに参成した場合、その人を会長とする。	３にしようかと思ったのですが、本人の意見も尊重すべきだと思い、このやり方を考えました。
なりたい人が放課後集まって話し合いで決める。	１、２だと落ちるのがこわいから方候補する人がへると思う。
生徒会執行部員の中で会長にふさわしい人を全校生徒できめる。	その方が生徒会でのするべきことを初めから言えるし、全員が納得できるから
生徒会をなくす	格差が生まれないから。
ジャンケンで決める。	差別なく決めれるから。
くじ	一人に投票のかたよりがでずに、運で決めれる。
最初は誰にも公表せずに、立候補した人の中から生徒会執行部員が決める。	周りに見られて恥ずかしいと思う人でも、気軽に立候補できるから。
とく名で立候補	性別やどっちが友達か分からないから。
学校にいる全員の人が決まる	みんな決めた方がもめごとがないから
お金をあげる、じゃんけんで生徒会長をきめる	お金ほしい、じゃんけんやったらすぐきまる。

【選んだ理由の自由記述】

＊集計における注意点
・理由の集計について、「全校選挙」「委員内選挙」「委員内互選」の３つの場合の理由の分布について、学年別の集計を行った。
・理由のカテゴリとしては「立候補者への配慮」「他の方法の弊害」「全員が参加することの意義」「執行部への信頼」「効率的」「公平性・平等性」「機会の保証」「その他」の８カテゴリとした。なお無回答と「とくになし」は集計から除いている。
・理由のカテゴリについて、２つのカテゴリにまたがる理由はほとんど見られなかったため、重複してカウントしていない。
・全体的に「その他」に含めた回答が多いが、「楽しそう」「前例がある」「喧嘩を防止する」「話しあいが大切」「不正の防止」など、理由の表現が多岐に渡るためである。そのほか、回答の意味が判別できないものも多く含まれている。比較可能なカテゴリとして取り出すことは不可能なため、言及しない。

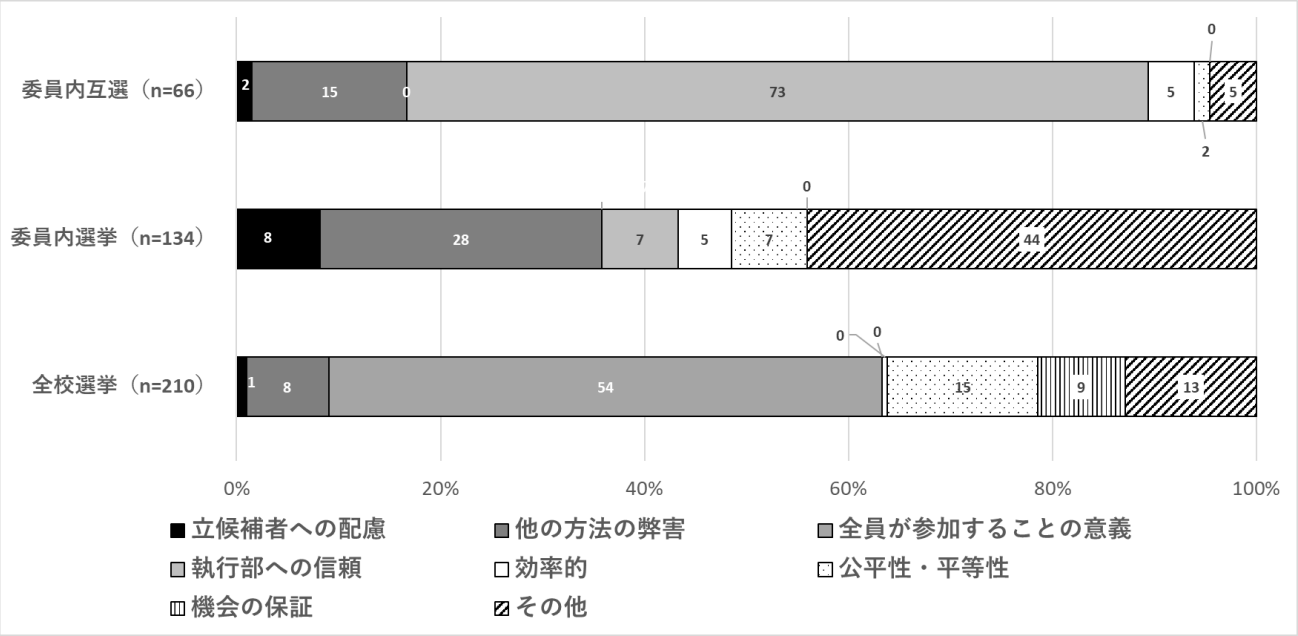
【小４】
・全校選挙についてみると、「全員が参加することの意義」「公平性・平等性」で過半数を占めている。
・委員内選挙についてみると、「立候補者への配慮」や「執行部への信頼」が比較的多い
・委員内互選についてみると、「執行部への信頼」が４１％と最も多い。



【小６】
・全校選挙についてみると、「全員が参加することの意義」のみで過半数を占めているが、「公平性・平等性」を挙げている児童も多い。

・委員内選挙についてみると、「他の方法の弊害」をあげている人が多いが、「その他」の回答も多く、まとまった回答が少ないのが特徴的である。小４でみられた「立候補者への配慮」や「執行部への信頼」は少ないようだ。

・委員内互選についてみると、「執行部への信頼」が 73%と最も多い。

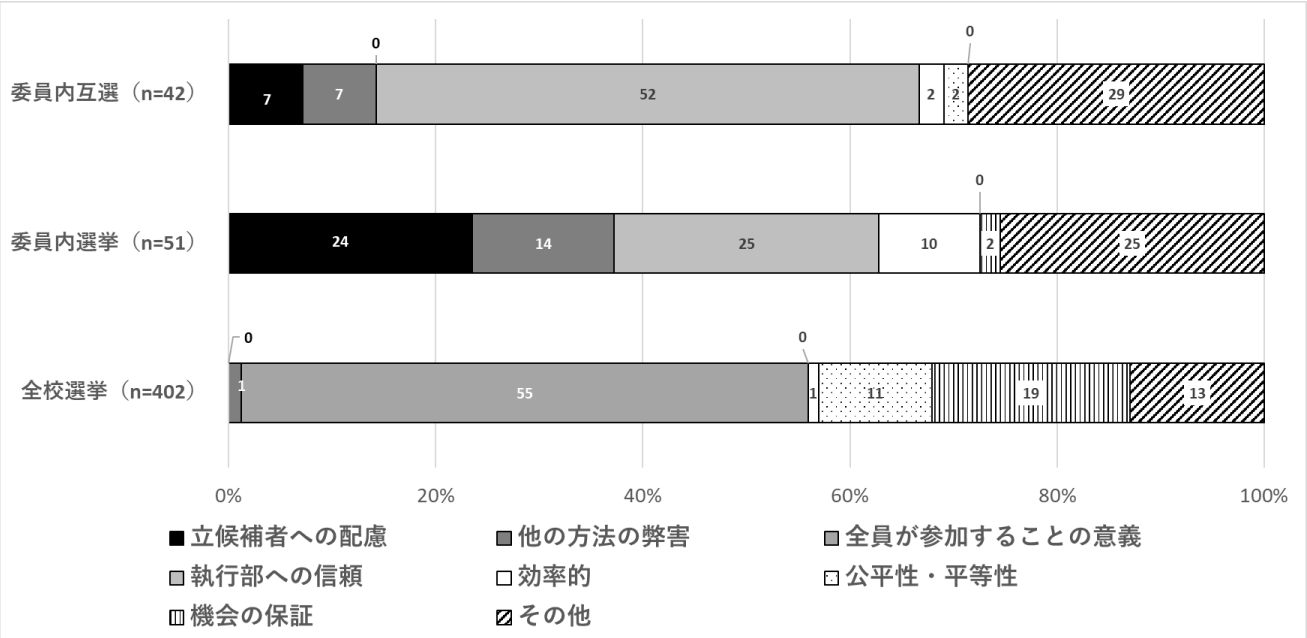


【中２】

・全校選挙についてみると、「全員が参加することの意義」のみで過半数を占めているが、「公平性・平等性」を挙げている児童も多く回答の傾向が小６とほぼ同じである。

・委員内選挙についてみると、小４でみられたように「立候補者への配慮」や「執行部への信頼」が多い。

・委員内互選についてみると、「執行部への信頼」が 52%と最も多く、執行部を信頼している場合は委員内互選を支持するようだ。



【それぞれのカテゴリの代表的な意見（中２のみ抜粋）】

■立候補者への配慮

・全校生徒の前で話すのは、最初は緊張するかもしれないから（中２・委員内選挙）

・選挙をすると立候補して落選したら落ち込むかもしれないから。（中２・委員内互選）

■他の方法の弊害

・生徒会執行部員が決めたら、決められた人が本当はやりたくないかもしれないから。（中２・全校選挙）

・選挙をすると、みんなが好きな人になってしまうから、限られた人が決めたらいいと思う。（中２・委員内選挙）

・どこぞの、目立ちたいだけの迷惑な奴が会長にならないため。（中２・委員内互選）

■全員が参加することの意義

・みんなから選ばれたらがんばろうとおもえるから。（中２・全校選挙）

・学校の会長のことなので、全校生徒で決めた方がいいから。（中２・全校選挙）

・全校生従で決めることで、本当にその人がふさわしい人かがわかるため（中２・全校選挙）

■執行部への信頼

・生徒会の人が選んだら納得がいくから。（中２・委員内選挙）

・普通の生徒が決めるより、執行部員が決めるほうがいいから。（中２・委員内互選）

■効率的

・全校生従で多数決をしたら、はやく決まるから。（中２・全校選挙）

・その方が時間も短くて済むから。（中２・委員内選挙）

・部員の中から決めるから、時間がかからない。（中２・委員内互選）

■公平性・平等性

・少人数で決めるより、全校生徒で決めたほうが、平等だと思うから。（中２・全校選挙）

・差別や好き嫌いで決めず、平等だから。（中２・全校選挙）

■機会の保証

・生徒会執行部員の中だけだったら誰もが気軽にやってみたいと思わないから（中２・全校選挙）

・誰にでもなれるチャンスがあれば気軽にやってみようと思えるから（中２・全校選挙）

・生徒会執行部に入っていない人でも、やってみたいという人がいるかもしれないから。（中２・全校選挙）

【会長希望別】

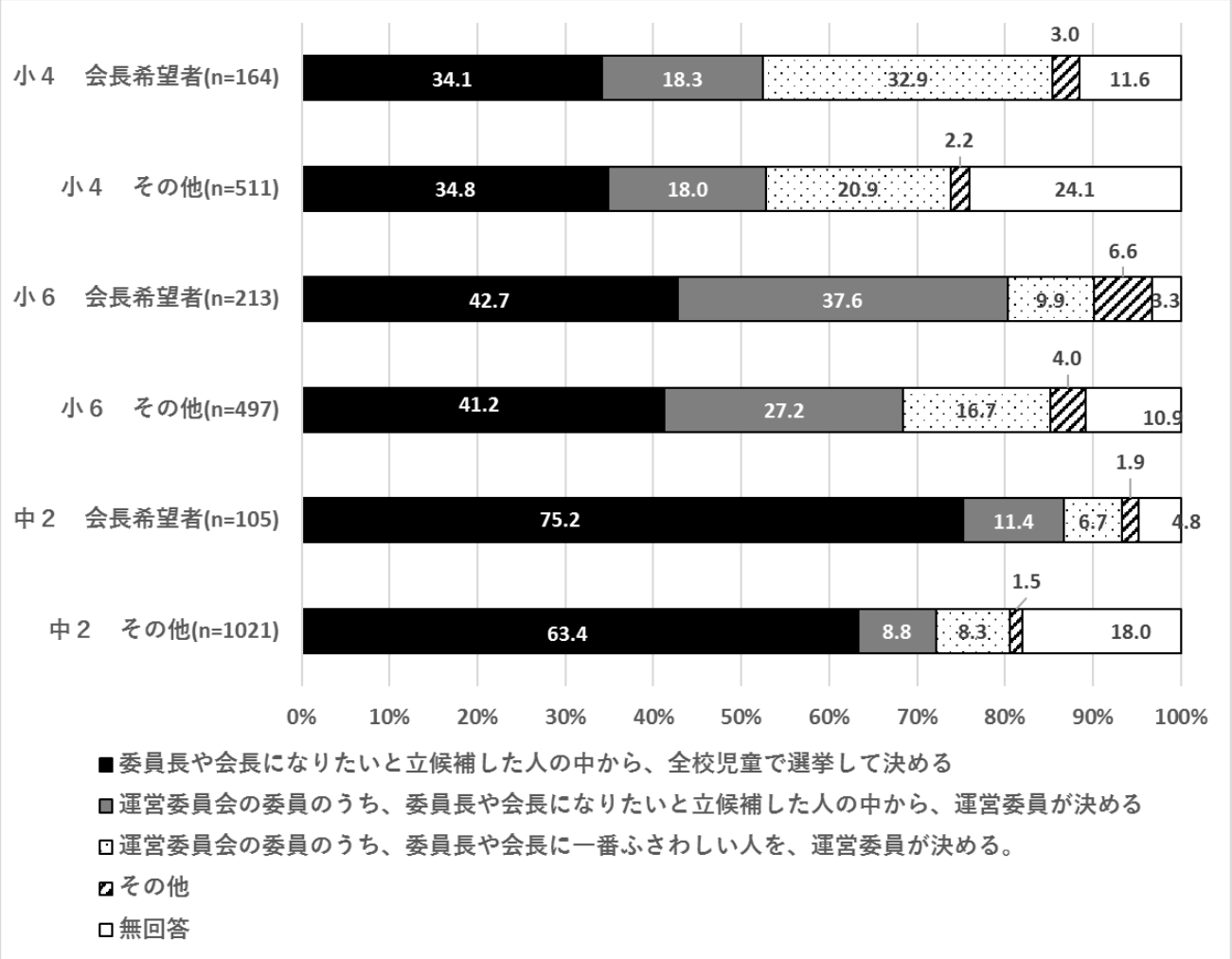
・小４では、会長希望者はその他の人に比べると、運営委員会の中の互選を選ぶ人がやや多い。

・小６では、会長希望者はその他の人に比べると、運営委員会内での立候補を選ぶ人がやや多い

・中２では、会長希望者はその他の人に比べると、全校での選挙を選ぶ人がやや多い。

・会長希望者では、全学年で共通して無回答が少なく、選び方に何らかの考えを持っている者の割合が、その他のグループよりも多い傾向がある。

・それぞれの学年の会長希望者について、性別に違いがあるか検討したところ、選抜方法について差は確認されなかった。

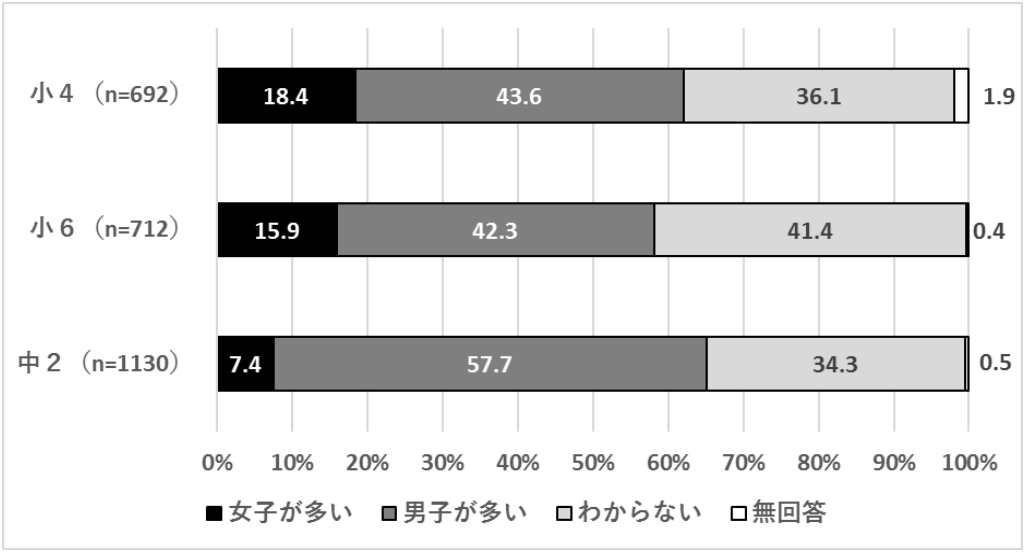


7　次のことがらで、あなたのクラスであてはまる数字１つを○でかこんでください。

クラス内の雰囲気について４つの項目について男女でどちらが多いか尋ねたところ、「授業でよく発言する」のは男子、「グループで行動する」は女子が多いという結果となった。「班長やクラスの代表などのリーダー」と「意見が通りやすい」は学年によって傾向が異なる。

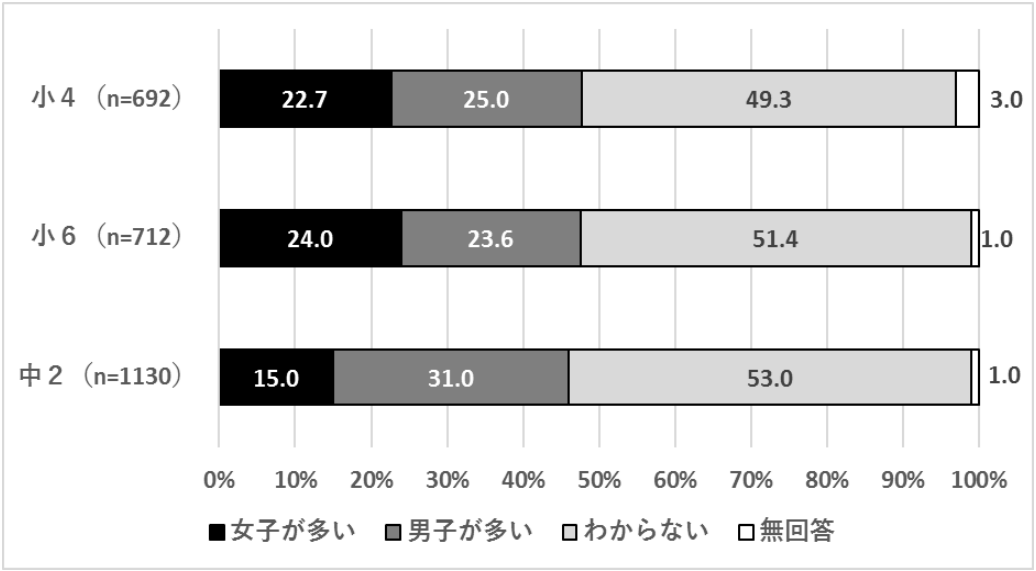
■授業でよく発言する

・小学校でも中学校でも男子の方が発言している。その傾向は小学生よりも中学生で顕著である。



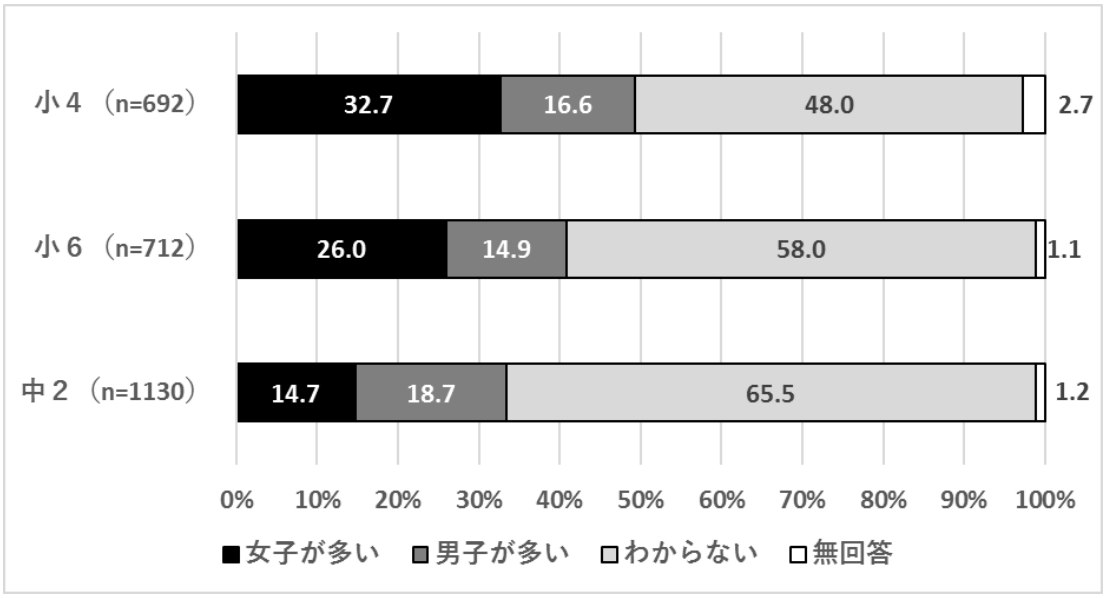
■班長やクラスの代表などのリーダー

・全学年を通じて、「わからない」とする回答が半数を占めているが、小学生では男女が半々であるのに対して、中学生ではリーダーは男子が多いと考える生徒が、女子が多いと考える生徒の約２倍となっている。



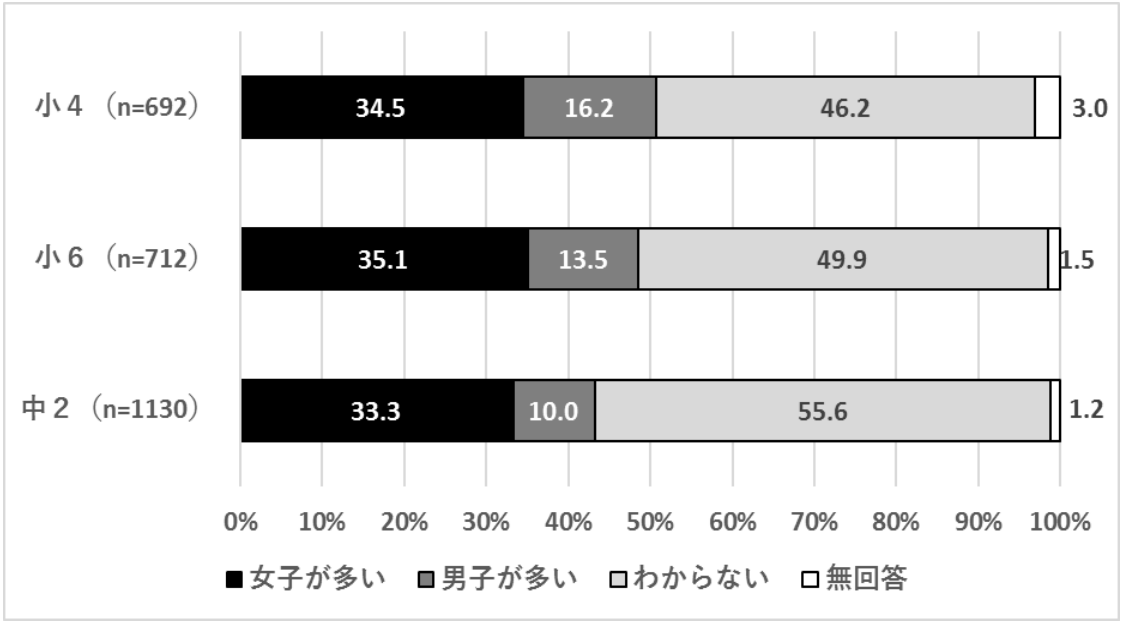
■意見が通りやすい

・小・中学生とも「わからない」という回答が多い。女子と男子の内訳を詳しく見ると、小学生では意見が通りやすいのは「女子が多い」と考える児童が多い。一方、中学生では「男子が多い」と考える生徒が「女子が多い」と考える生徒を若干ではあるが上回っている。



■グループで行動する

・小・中学生とも「わからない」という回答が多い。ただし、どの学年においても、約３割程度の児童生徒が「女子が多い」と考えており、「男子が多い」と考える人の約２倍～３倍程度となっている。

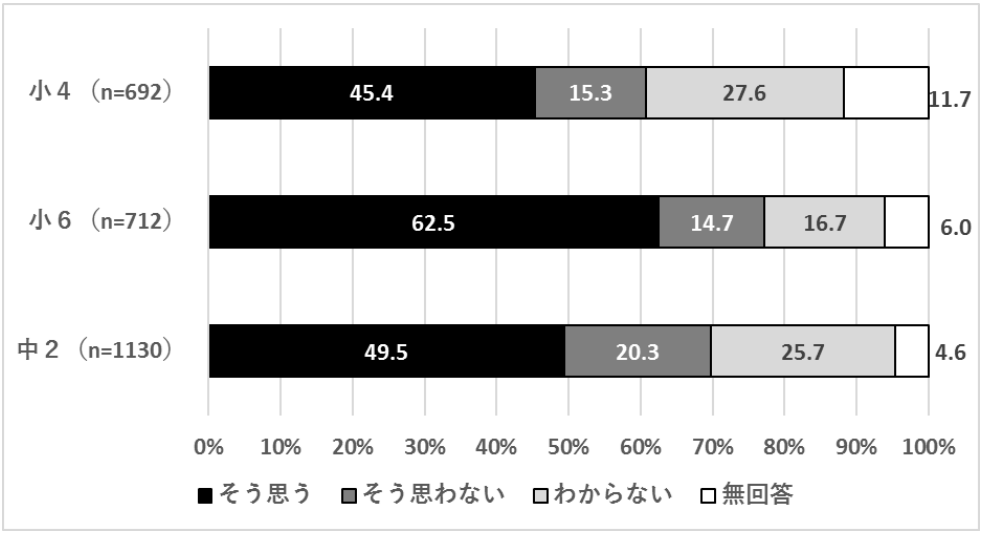


8　あなたの学校について、あてはまる数字１つを○でかこんでください。

児童生徒から、先生が男女で接し方を変えているかどうか尋ねたところ、概ね教員からの働きかけは男女によって異なると考えているわけではないようだ。ただし、「わからない」という回答も多く、積極的に先生が男女で同じように接していると考えているのは５割～６割である。

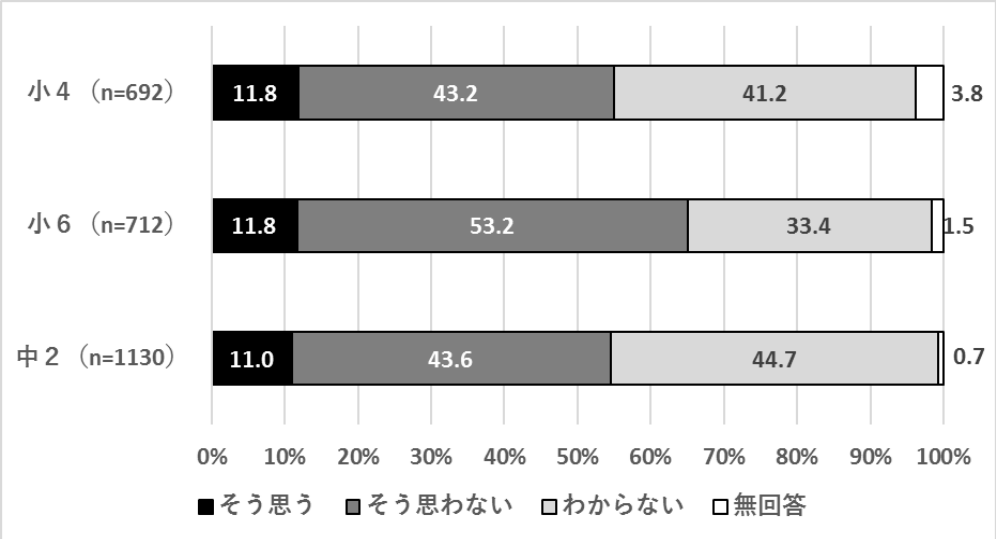
■先生は、女子も男子も同じように接している

・小６では約６割の児童が「そう思う」と回答しているが小４と小６では約５割にとどまる。一方で「そう思わない」と回答する児童生徒は１割～２割程度であり、教員が子どもの性別で接し方に差をつけていると認識している児童生徒は多くないようだ。



■先生から、男だから○○した方が良い、女だから○○した方が良いと言われることがある

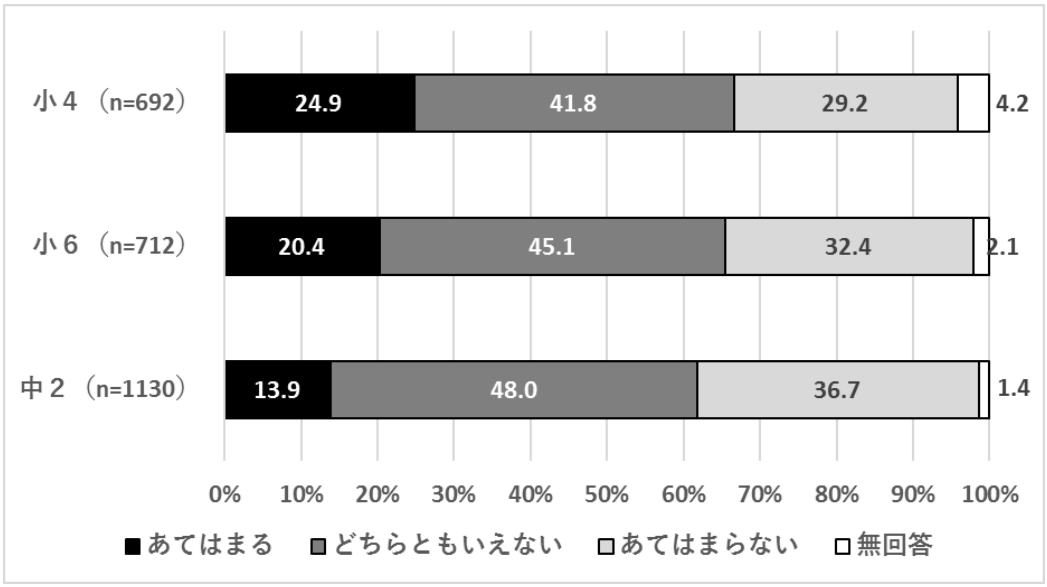
・「そう思わない」と回答する児童生徒が多い一方で「わからない」と回答する児童生徒も同程度いる。



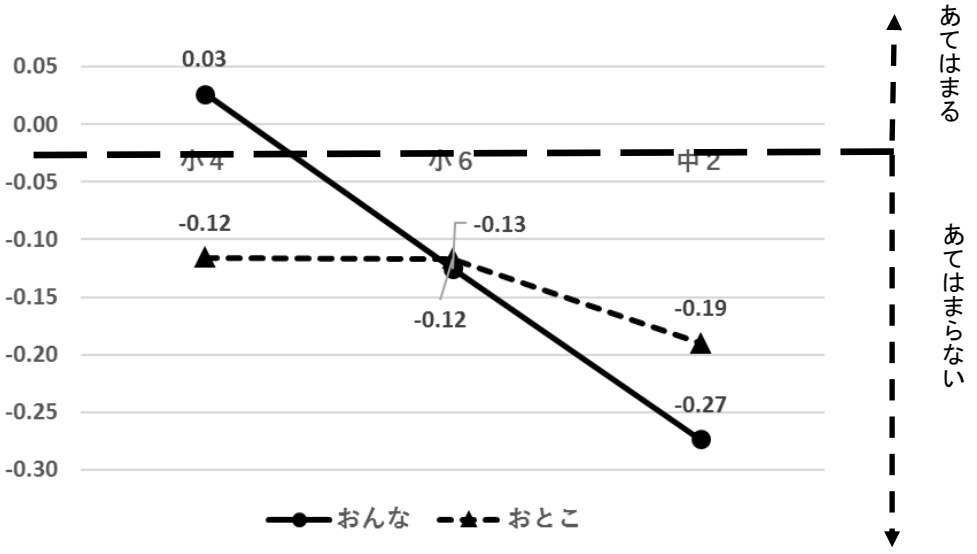
9　自分のことについて、あてはまる数字１つを○でかこんでください。

■みんなを引っ張っていくことが多い

・「みんなを引っ張っていくことが多い」と自認している児童生徒は少ない結果となった。学年が上がるにつれて減少する結果となった。



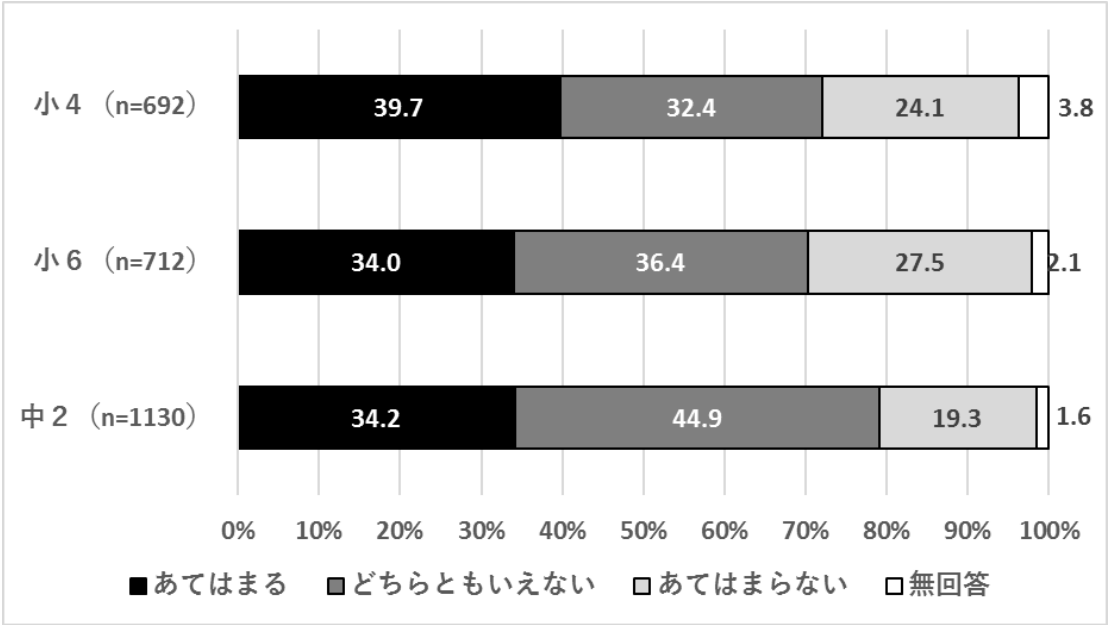
学年別、性別での違いを確認するための統計処理をした結果、リーダーシップを発揮するのは、男女ともに、あてはまらない傾向である。学年ごとに見ると、小４では、女子がどちらかというと該当し、男子はあてはまらないという回答が多い。しかし、小６で男女ともあてはまらない傾向となり、中２では、男女ともその傾向が強まるのだが、男子よりも女子の方がよりリーダーシップを発揮するのはあてはまらないという結果となった。



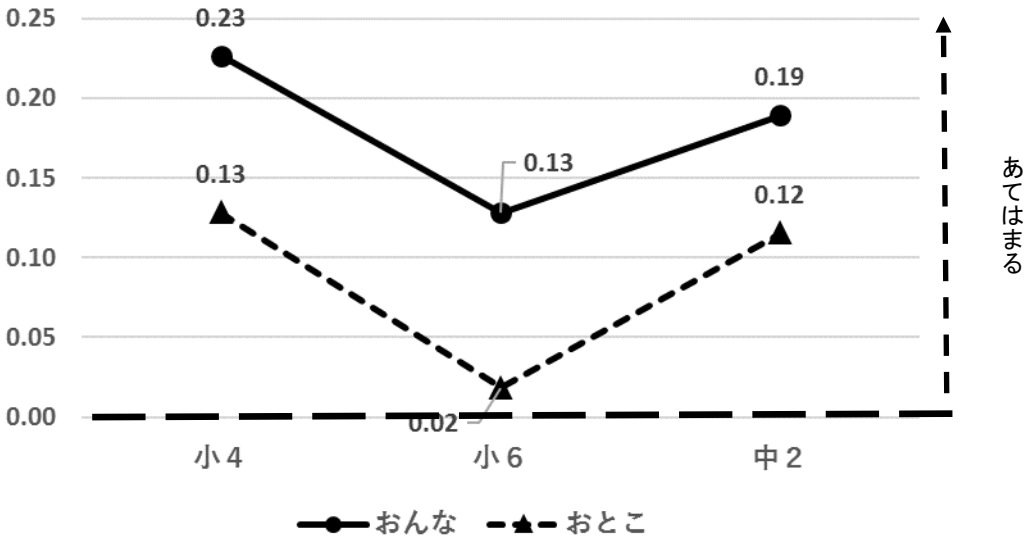
※統計処理方法：全回答から無回答を除外し、回答のうち、あてはまる＝１、どちらともいえない＝０、あてはまらない＝－１で、学年別及び性別の平均値を算出

■意見が分かれた時は友達にあわせる

・「意見が分かれた時は友達に合わせる」は、小４ではあてはまる傾向であるが、中２では減少している。一方、あてはまらないも減少し、どちらともいえないが４割まで増える。



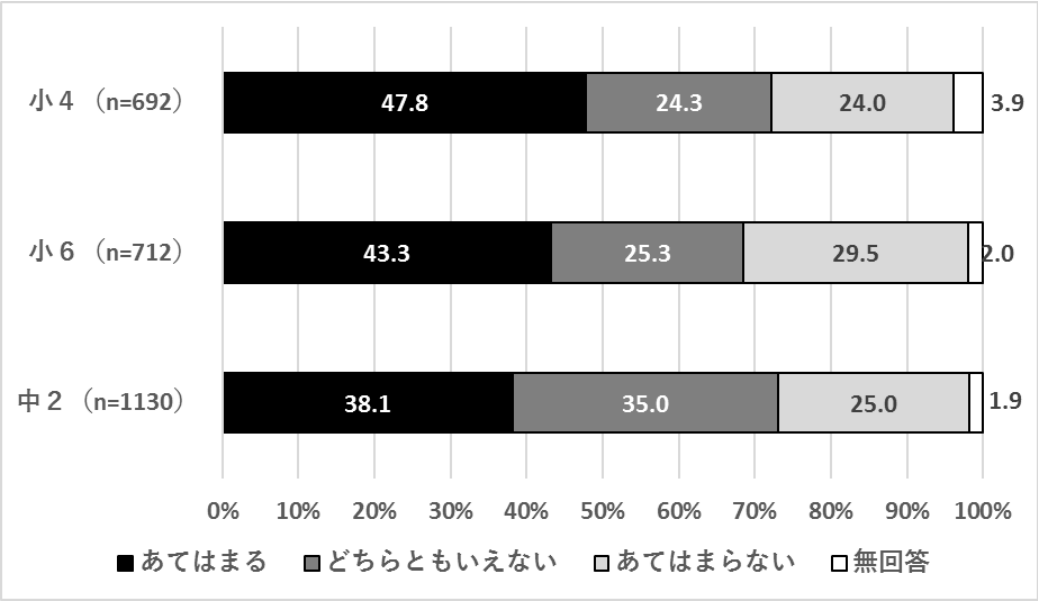
学年別、性別での違いを確認するための統計処理をした結果、同調姿勢は、男女とも該当するが、女子がより該当する傾向となった。小４が最も多く、小６で減り、中２では再び多くなっている。



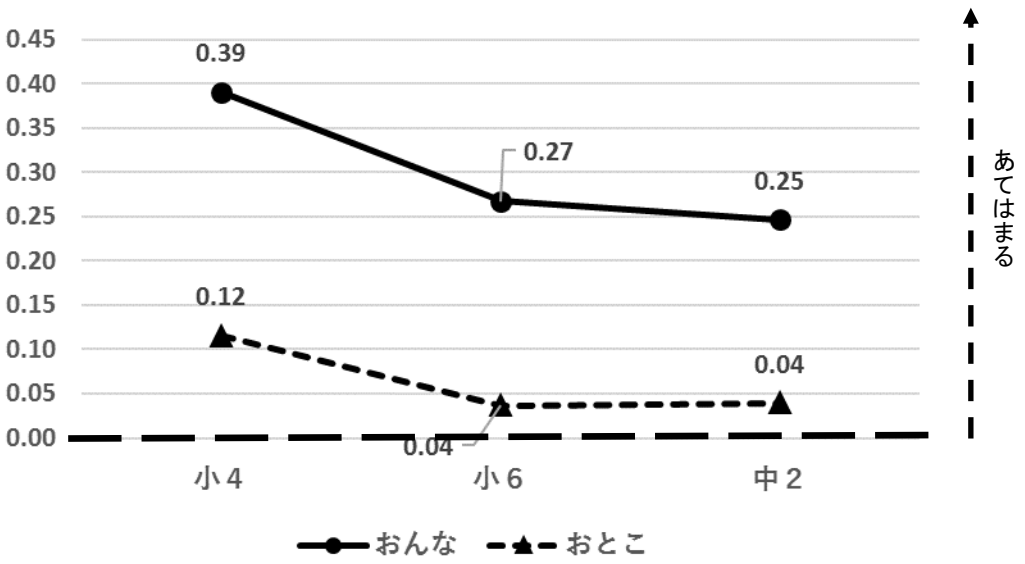
※統計処理方法：全回答から無回答を除外し、回答のうち、あてはまる＝１、どちらともいえない＝０、あてはまらない＝－１で、学年別及び性別の平均値を算出

■何かをするとき、失敗がこわくて迷う

・「何かをするとき、失敗がこわくて迷う」については、全学年通じ、４割～５割前後の児童生徒があてはまると回答している。しかし、この傾向は学年が高くなるにつれてやや減少する傾向となっている。



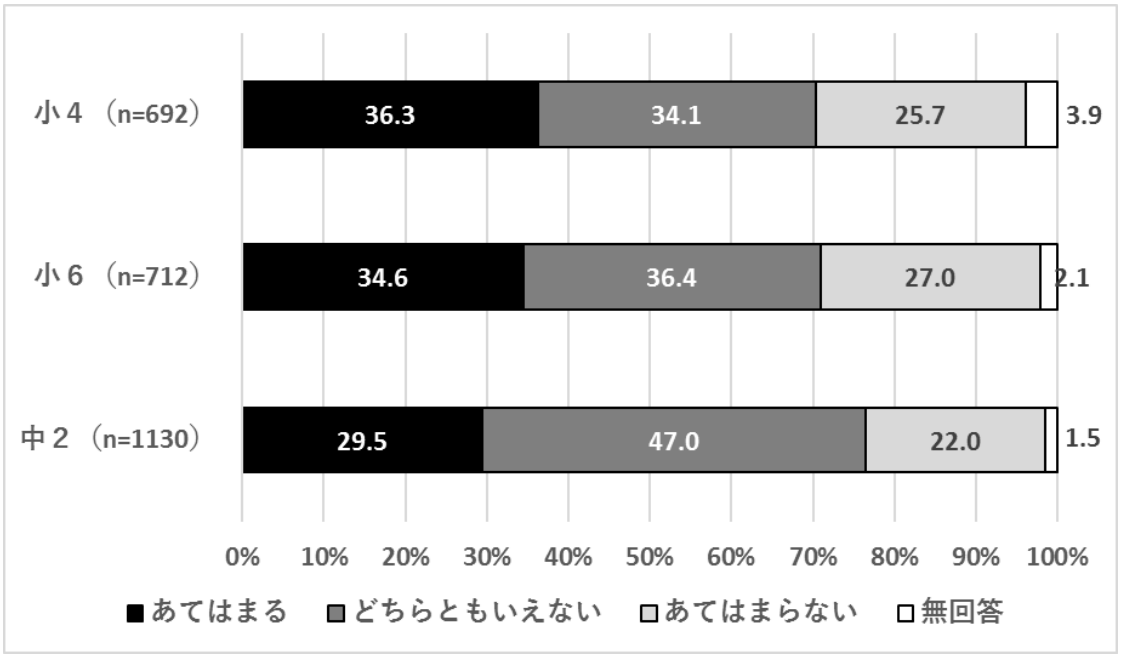
学年別、性別での違いを確認するための統計処理をした結果、失敗回避姿勢は、男女とも該当する傾向であるが、女子が該当するという回答が多く、男子との差が最も大きく出ている。しかし、小４がもっとも多く、年齢が上がるにつれ、男女ともあてはまると回答する数が減少している。



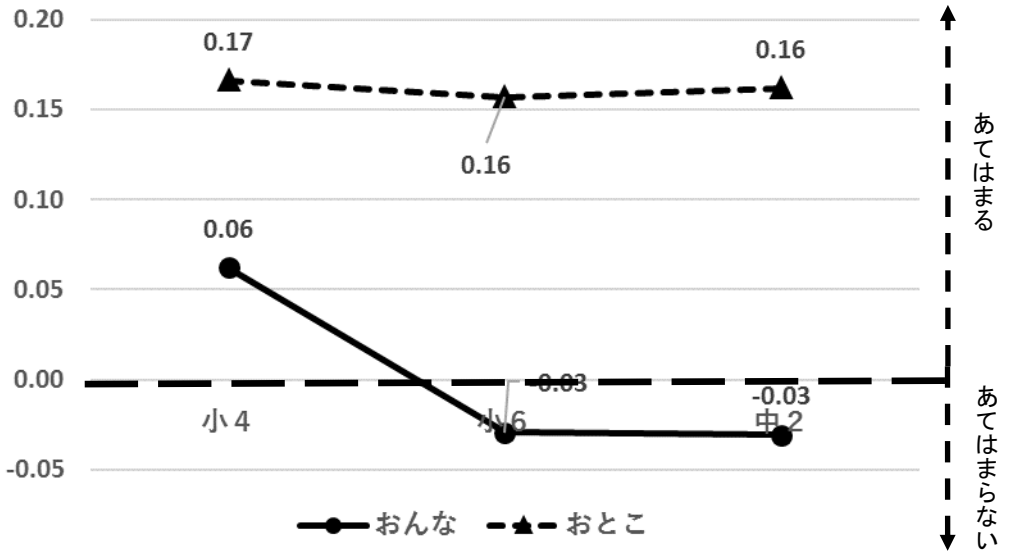
※統計処理方法：全回答から無回答を除外し、回答のうち、あてはまる＝１、どちらともいえない＝０、あてはまらない＝－１で、学年別及び性別の平均値を算出

■自分の意見をいつもはっきり言う

・「自分の意見をいつもはっきり言う」では、小４では、あてはまるという回答がやや多いが、徐々に減少し、中２では、あてはまらないも減少している。一方、どちらともいえないが５割近くに増えている。



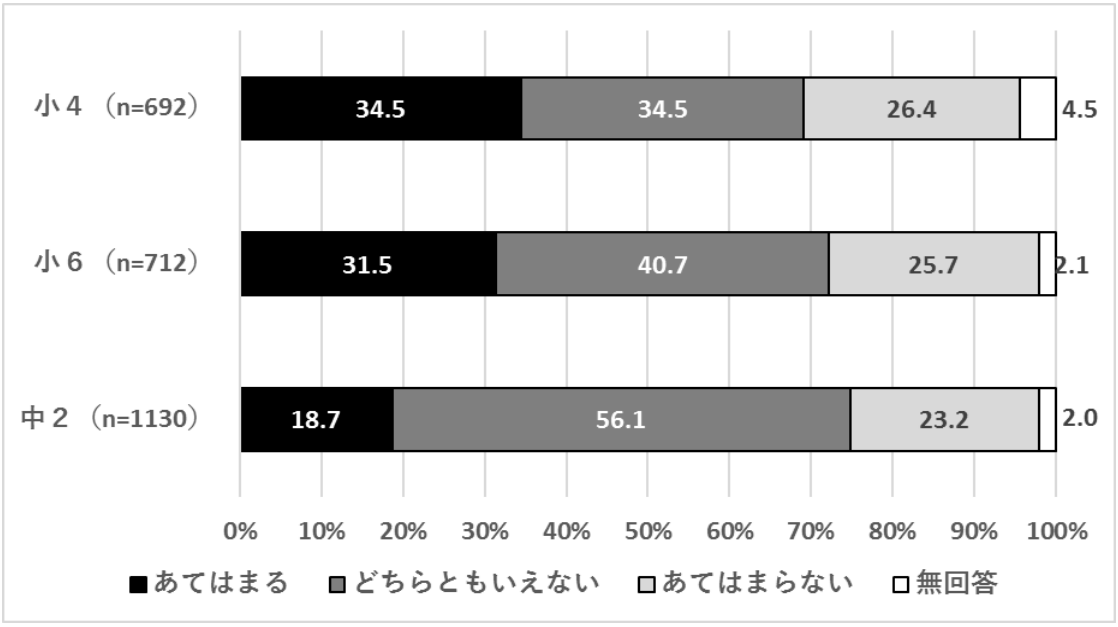
学年別、性別での違いを確認するための統計処理をした結果、自己主張姿勢は、男子は全学年通じて該当する傾向にあるが、女子は小４でやや該当する傾向となったが、小６、中２ではあてはまらないという傾向を示した。



※統計処理方法：全回答から無回答を除外し、回答のうち、あてはまる＝１、どちらともいえない＝０、あてはまらない＝－１で、学年別及び性別の平均値を算出

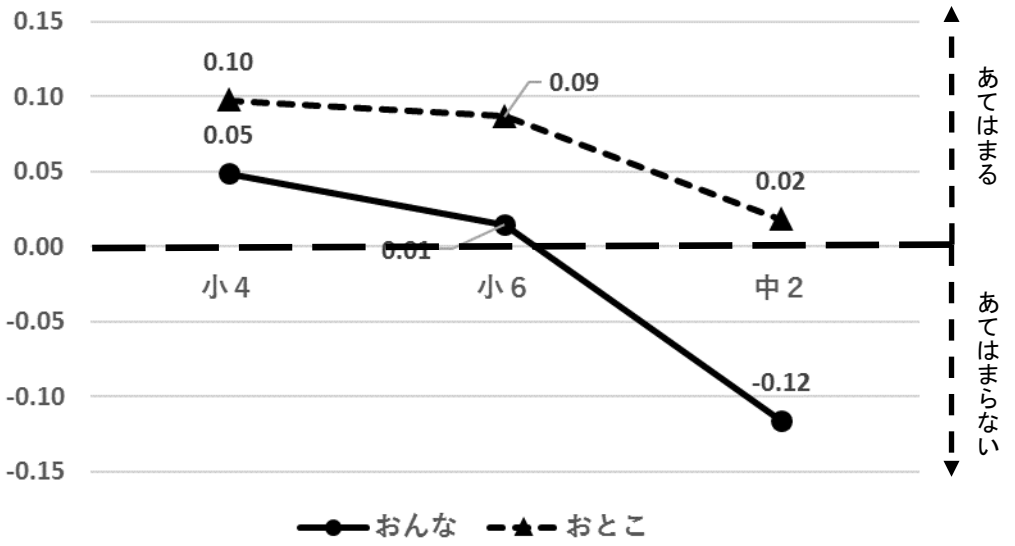
■みんなと違っても、自分が考えた通りにやる

・「みんなと違っても、自分が考えたとおりにやる」については、小４では、あてはまる数がやや多いが、学年が上がるにつれ、どちらともいえないが５割以上となり、あてはまる数が減少している。



学年別、性別での違いを確認するための統計処理をした結果、独自路線姿勢は、男女とも、あてはまる、あてはまらないの傾向が明確でない。しかし、男子が全学年通じて該当する傾向となったが、女子は小６、中２ではあてはまらないという傾向を示した。

若年時期には、人と違っても自分の考えで取り組んでいるが、年齢が上がるにつれ、女子が自分以外の周囲の意見も考慮した行動をとる傾向が出てくることが伺える。



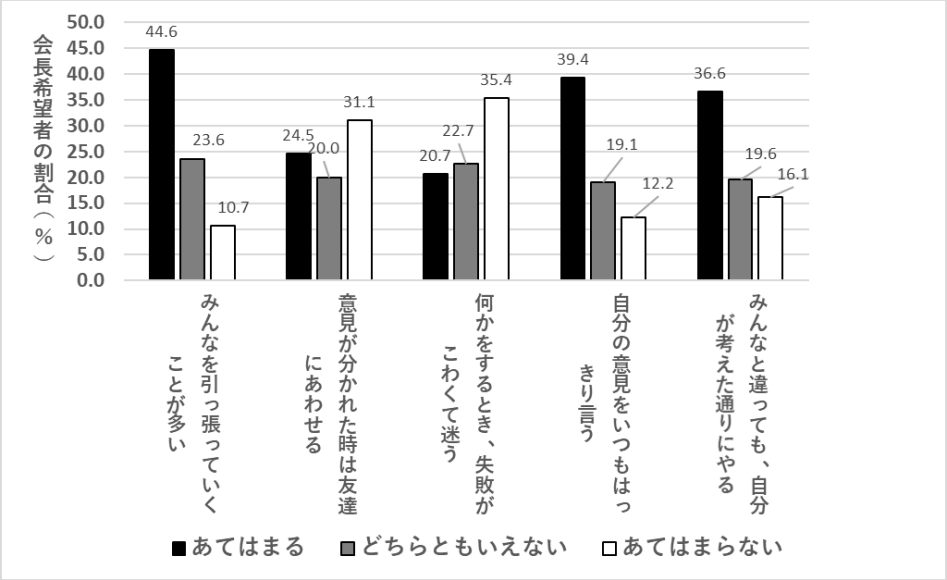
※統計処理方法：全回答から無回答を除外し、回答のうち、あてはまる＝１、どちらともいえない＝０、あてはまらない＝－１で、学年別及び性別の平均値を算出

【問９：自己イメージと問３：児童会長／生徒会長希望との関連】

全ての学年ついて、自己イメージと児童会長希望について関連が見られた。会長希望者は、希望していない人に比べると、リーダーシップを認識し、他人指向でなく、失敗不安が少ないといった特徴があり、さらに自己主張性についても高い。

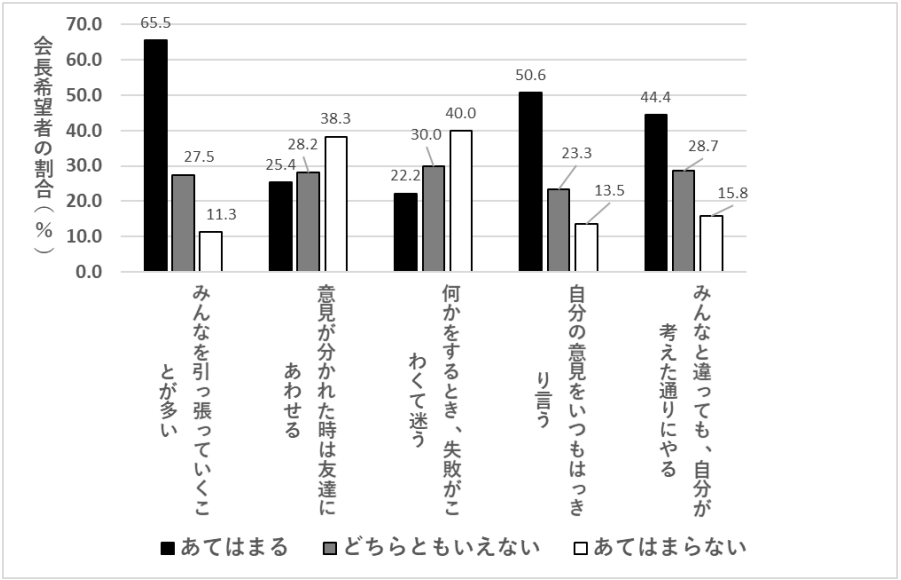
【小４】

・会長希望者は、希望していない人に比べると、リーダーシップを認識し、他人指向でなく、失敗不安が少ないといった特徴があり、さらに自己主張性についても高い。



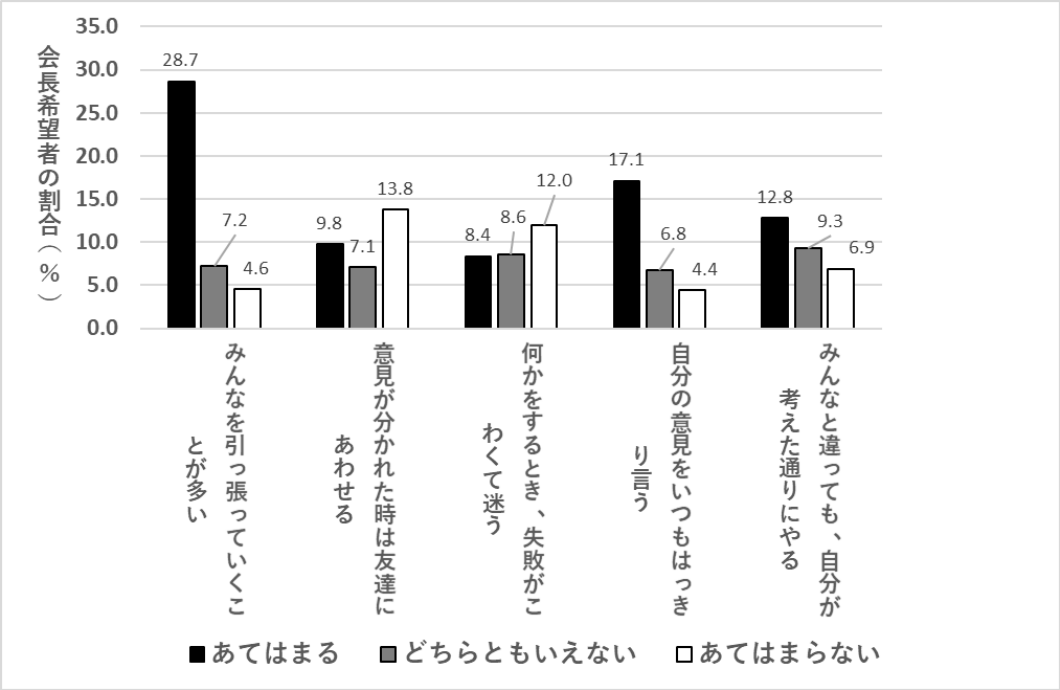
【小６】

・小４であらわれていた傾向がさらに明確に出ている。



【中２】

・「失敗がこわくて迷う」と「自分が考えた通りにやる」については小学生で見られたような関連が見られないが、会長希望者で「リーダーシップ」「意見をはっきりいう」「みんなと違っても自分が考えた通りにやる」と考えている生徒は多い。



10　あなたが将来つきたい職業は何ですか。いくつでも書いてください。わからなければ書かなくてもかまいません。

年齢が上がるにつれ、男子は「希望する職業なし」の生徒が増え、中２では約６割が「無回答」である。女子は、就きたい職業が限定的な傾向がある。

小４の時点では、人気がある職業は、男子だとユーチューバー、女子だとパティシエ・パン屋の人気が高い。

男子、女子とも芸能人がどの学年にもランクインしている。女子では芸能人は安定してランクが高いが、男子では下がっていく傾向がある。

【男子のランキングの特徴】

・男子ではスポーツ選手が常にランクが高いが、女子ではランクが下がっていく傾向で、中２ではランク外になっている。

・男子に特徴的なのは、建築関係の仕事、警察官といった男性が就くと考えられる仕事やゲーム関係の仕事の人気が高く、この傾向は小４から中２まで一貫して見られる。

表　男子の将来就きたい職業（n は回答者数、%は回答者数に対する割合）

	男子								
	小４（n=326）			小６（n=336）			中２（n=516）		
		n	%		n	%		n	%
1 位	スポーツ選手	99	30.4%	スポーツ選手	99	29.5%	スポーツ選手	57	11.0%
2 位	ユーチューバー	28	8.6%	ゲーム関係の仕事	15	4.5%	ゲーム関係の仕事	22	4.3%
3 位	科学者	17	5.2%	会社員	14	4.2%	飲食業	11	2.1%
4 位	医者	15	4.6%	芸能人	13	3.9%	建築関係の仕事	9	1.7%
5 位	ゲーム関係の仕事	14	4.3%	警察官	10	3.0%	保育士	8	1.6%
6 位	建築関係の仕事	11	3.4%	建築関係の仕事	10	3.0%	医者	7	1.4%
7 位	警察官	10	3.1%	科学者	9	2.7%	会社員	7	1.4%
8 位	芸能人	8	2.5%	ユーチューバー	8	2.4%	先生（小学校以下）	6	1.2%
9 位	飲食業	8	2.5%	動物関係	8	2.4%	芸能人	6	1.2%
	回答者数	326	100.0%	回答者数	336	100.0%	回答者数	516	100.0%

注１）無回答は小４で１０６（３２．５%）、小６で１２７（３７．８%）、中２で３０２（５８．５%）

注２）職業は非常に細かいものが記入されていたため、多くのカテゴリは複数の職業が統合されている

・スポーツ選手：すべてのスポーツに関する選手の記述

・科学者：科学者、研究者、研究家など

・ゲーム関係の仕事：プロゲーマー、ゲームクリエイター、任天堂など

・建築関係の仕事：建築家、大工など

・芸能人：女優、俳優、タレント、歌手、芸人、ダンサーなど

・飲食業：料理人、飲食店、飲食業など

・動物関係：獣医、飼育員、トリマーなど

・先生（小学校以下）：学校の先生、小学校の先生、幼稚園の先生、児童館の先生など（中学校や高校などの中等教育以上は含まない）

【女子のランキングの特徴】

・女子に特徴的なのは、先生（中等以上は含まない）、看護師、保育士などのケアにかかわる仕事や美容師、ファッション関係などの女性が就くと考えられる仕事の人気が高い。この傾向は小４から中２まで一貫して見られる。一方男子は、そのような仕事はあまりランクインしておらず、中２で保育士（５位）と先生（８位）がランクインしているのみである。

表　女子の将来就きたい職業（n は回答者数、%は回答者数に対する割合）

	女子								
	小４（n=317）			小６（n=347）			中２（n=561）		
		n	%		n	%		n	%
１位	パティシエ・パン屋	52	16.4%	看護師	45	13.0%	保育士	40	7.1%
２位	スポーツ選手	36	11.4%	芸能人	44	12.7%	看護師	37	6.6%
３位	先生（小学校以下）	36	11.4%	保育士	36	10.4%	芸能人	29	5.2%
４位	ファッション関係の仕事	33	10.4%	パティシエ・パン屋	31	8.9%	美容師	25	4.5%
５位	芸能人	32	10.1%	スポーツ選手	24	6.9%	ファッション関係の仕事	21	3.7%
６位	動物関係	29	9.1%	ファッション関係の仕事	24	6.9%	先生（小学校以下）	21	3.7%
７位	看護師	25	7.9%	先生（小学校以下）	24	6.9%	漫画家・イラストレーター	20	3.6%
８位	医者	22	6.9%	美容師	21	6.1%	医者	16	2.9%
９位	漫画家・イラストレーター	19	6.0%	医者	19	5.5%	芸術関係	16	2.9%

注）無回答は小4で46（14．5%）、小6で65（18．7%）、中2で255（45．5%）

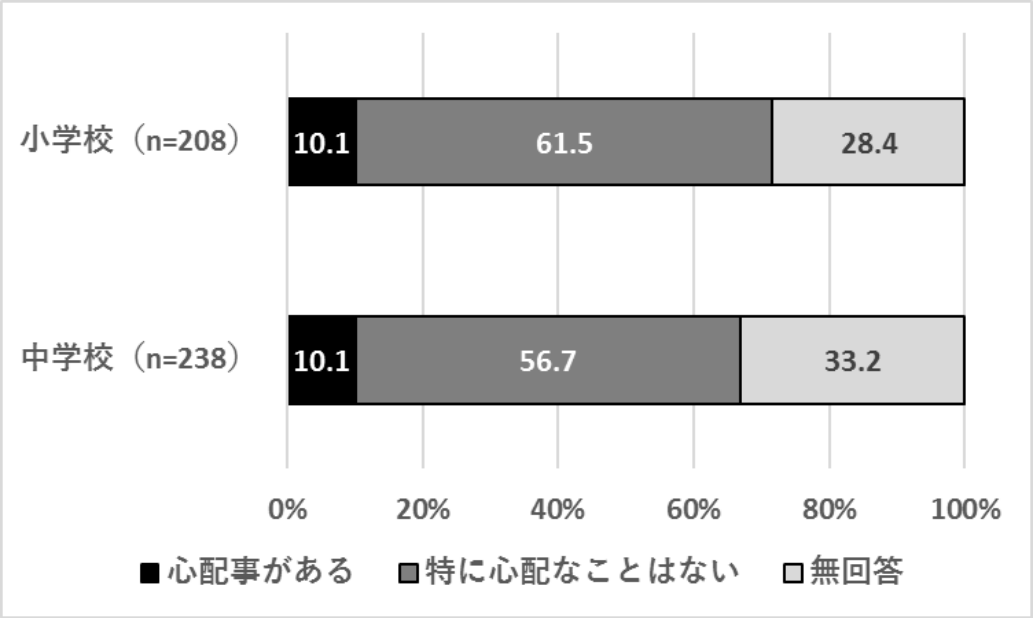
Ⅲ．調査結果（教員票）

問１　児童会長（運営委員長）や生徒会長について、男子、女子別に考えて、特に心配なことがあれば、○をつけてください。

女子の場合についても、男子の場合についても特に心配なことがあるとする教員は１割程度であり、性別によって心配事の有無は変わらないようだ。

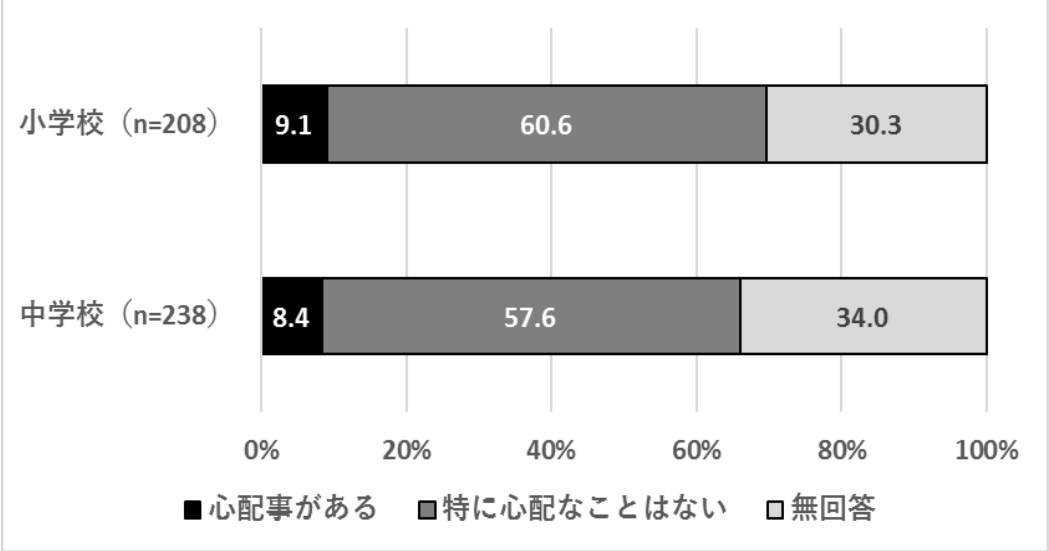
【男子の場合】

・男子の児童／生徒会長に対して特に心配なことがあると答えたのは約１割であり小学校、中学校とも割合について差異はみられない。特に心配なことはない人は約６割であり、残りの約３割は無回答となっている。全体的に心配事がある教員は限定的である。



【女子の場合】

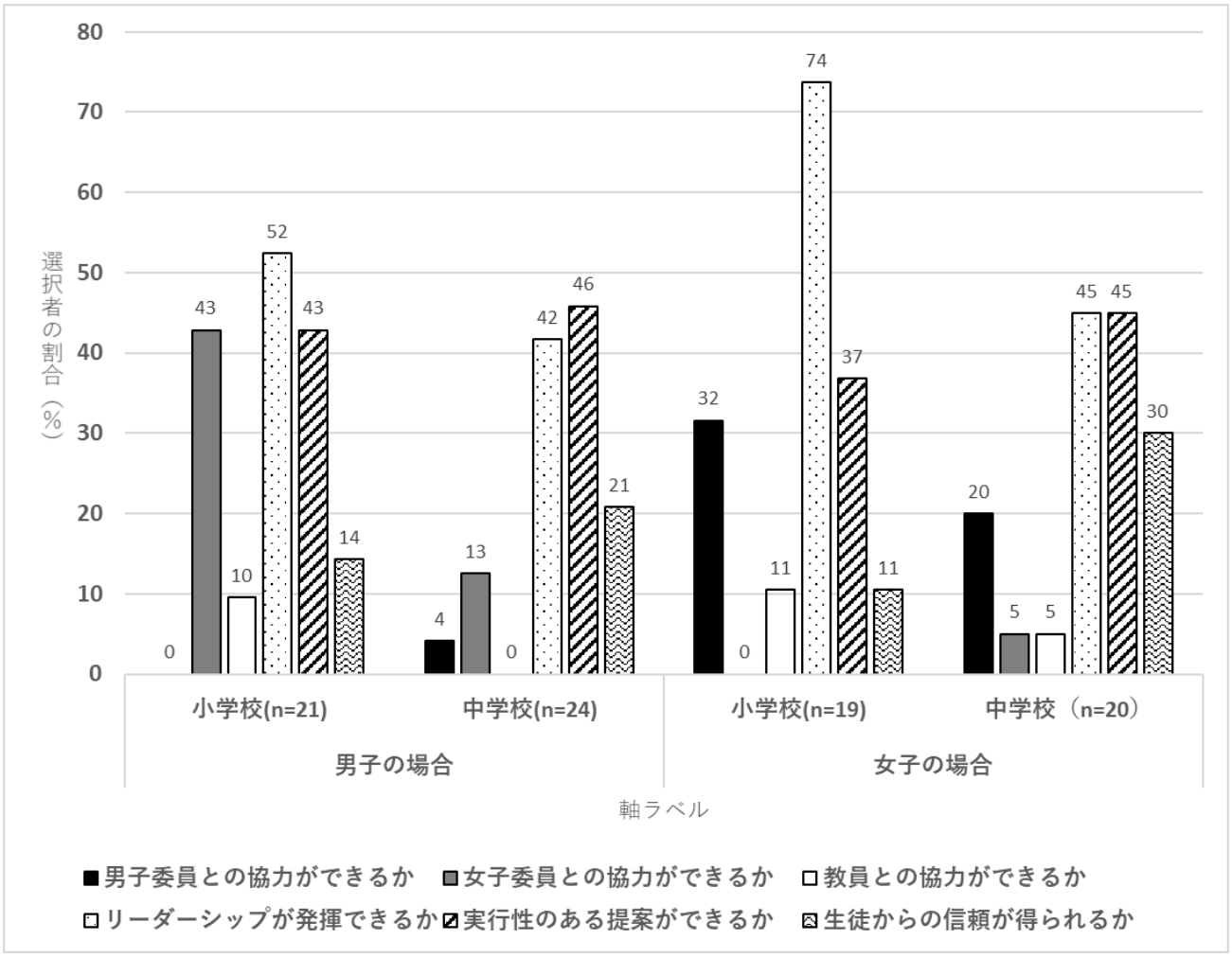
・女子の場合についても男子の場合の結果と同様である。



【心配していることの内容の内訳】

・心配していることについてすべて上げてもらったところ、心配をしている小学校教員の約７割が、女子に対して「リーダーシップを発揮できるか」を心配しているものの、男子に対しては約５割であった。

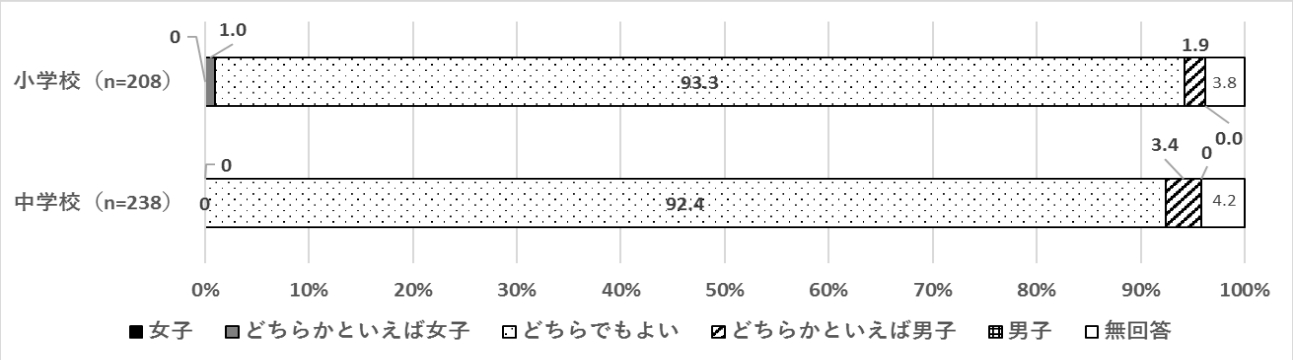
・中学校教員では、心配していることが性別によって変化することはなく、男女ともに「リーダーシップの発揮」「実行性のある提案」について約４割が心配事としてあげている。



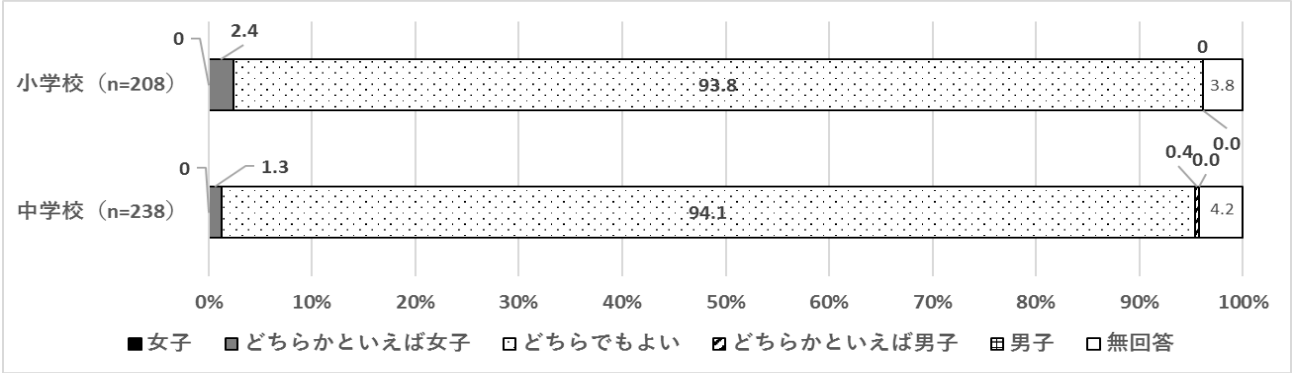
問２　それぞれの役割について、児童／生徒の性別によって勧めやすい役割がありますか。それぞれあてはまる数字１つに○をつけてください。

生徒会長や副会長、班長や委員長など、いずれも９割以上の教員が「どちらでもよい」と答えており、教員の立場から男女によって勧めやすい役割はないという結果であった。しかし、非常にわずかだが、小中学校とも「会長はどちらかといえば男子」「副会長はどちらかといえば女子」に勧めやすいという結果が出た。

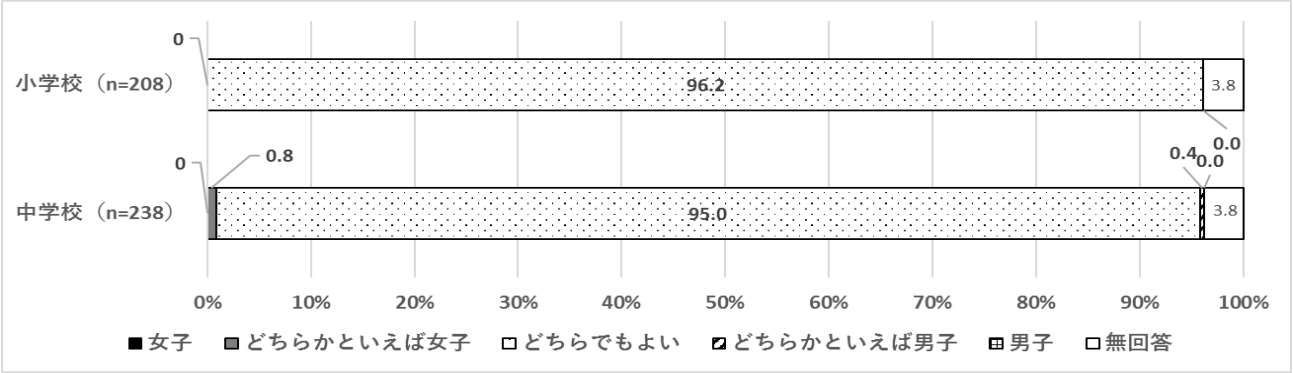
【児童／生徒会会長】



【児童／生徒会副会長】



【班長や委員長など】



問３　大津市の小学校では、児童会長（運営委員長）は男女半々ですが、中学校では生徒会長は女子の方が少ないという現状があります。なぜ中学校では男子より女子の生徒会長が少ないか、思い当たる理由があれば教えてください。

小学校・中学校とも約４割の教員が回答をした。それぞれ「女子の性格に言及」「男子の性格に言及」「社会的慣習に言及」「男女の発達段階の差に言及」しているものに分類したところ、もっとも回答が多かったのは「女子の性格に言及」しているものであり、「恥ずかしがっている」「遠慮している」などの女子の心理的な側面から説明しているものが多く見られた。

		女子の性格に言及	社会的慣習に言及	男子の性格に言及	男女の発達段階の差に言及	その他	特になし	意見の合計
小学校	回答数	42	7	5	2	2	14	72
	%	20.2%	3.4%	2.4%	1.0%	1.0%	6.7%	100.0%
中学校	回答数	29	16	11	8	17	16	97
	%	12.2%	6.7%	4.6%	3.4%	7.1%	6.7%	100.0%

注）無回答は小学校で 136 件、中学校で 141 件である。男女の発達段階の差に言及しているものは、特に男女まとめて「発達段階」と解釈しているものを含む。

・女子の性格に言及しているもので多かったのは、「恥ずかしがっている」「遠慮している」「思春期で目立つことを好まない」「成功不安や失敗回避の傾向が強い」などの、女子の心理的な側面に着目している教員が多かった。また、「立候補者が出ない」「立候補者が少ない」といった現実的な側面に着目しているものもみられた。

＜女子の性格に言及している主な意見＞
・わからないが、女子の方が思春期が早くくる分、人前に出るのが恥しいなどと思うのだと思う。
・人材はたくさんいます。女子が遠慮して出てこないだけ。
・あまり目立ちたくないという心理が女子の方が強いのではないか。
・アメリカの心理学者であるホーナーの研究にもあるが、発達段階的に性差が現れることで女子生徒は男子生徒よりも成功不安や失敗回避といった傾向があるように思う。
・中学校の場合、立候補、選挙を行うにあたり、前に出て、演説することを、女子が嫌がり、出ないのでは…。
・女子の立候補者が出てこない。

・男子の性格に言及しているものは女子の場合よりも多様であった。例えば「人前で話すことに抵抗が少ない」「リーダーシップをとる資質が育ってくる」といった「男性特有の資質」と解釈しているパターン、「声が通りやすい」「演説で声が聞き取りやすい」といった演説における男子の優位性、「選挙のときに男子生徒の方が多い」といった立候補に関するものなどがあった。

＜男子の性格に言及している主な意見＞
・男子の方が、大人数の前で代表として話すことへの抵抗が少ない子が多いのかもしれないから。
・中学生くらいから男性性が発達してきて、リーダーシップをとる資質が男子の中に育ってくるから
・小学校高学年では、発育・発達において女子のほうが早いが、中学では、男子にも成長がみられる。演説や人前に立つ場での声のききとりやすさ、高い声で話すと圧を感じる、話の入りやすさ。
・男子の方が行動力があって声が大きい生徒が多いから
・選挙するときに男子の生徒の方が多いから。

・社会的慣習に言及しているものは、社会において、リーダーは男子が多いというイメージが刷り込まれているという点に言及しているものが多く見られた。特に、中学校においては、これまでの学校内で、男子が会長という実例が多く、女子の例が少ないので、立候補しないという意見もあった。

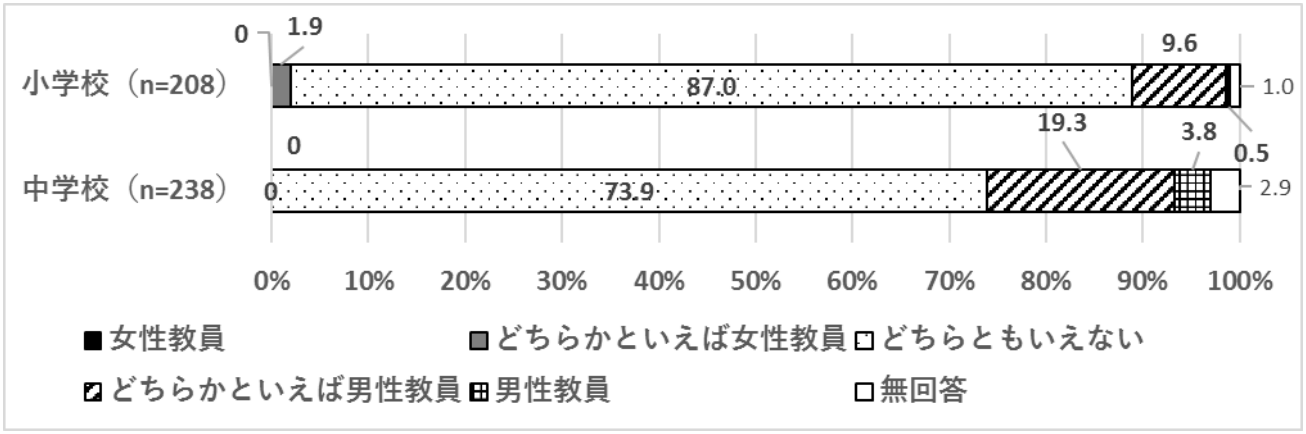
＜社会的慣習に言及している主な意見＞
・前例があまりないため。
・生徒たちの中で生徒会長は男の先輩というイメージがあるのかもしれない。
・日本の昔からの社会風土。
・大人になるにつれて、市（県）議会議員や国会議員なども男性の方が多い現状があり、社会の構図が中学生の組織にも現れているのかもしれない。

問４　職場での役割や職場環境について述べた以下の文章のうち、女性教員と男性教員ではどちらがあてはまりますか。それぞれあてはまる数字１つに○をつけてください。

職場での役割や職場環境について４項目について尋ねたところ、「主任の役割」はやや男性教員の方が多くその傾向は中学校で強かった。「育休の取りにくさ」については圧倒的に男性教員であり、過半数を占める。「保護者からの信頼の得やすさ」「意見の通りやすさ」についてどちらともいえないとする回答が多かった。

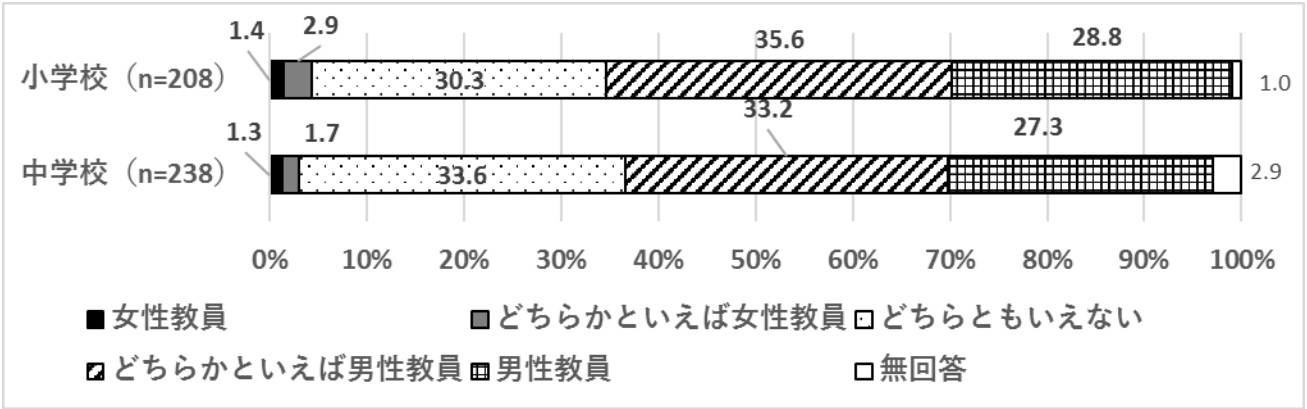
■主任の役割

・主任の役割についてみると、小学校で約９割、中学校で約７割が「どちらともいえない」と答えているが、中学校では約２３％の教員が「男性教員」「どちらかといえば男性教員」と回答しており、「女性教員」「どちらかといえば女性教員」と回答する人が０％であることを踏まえるならば、主任の役割は男性教員であるという意見がやや多い傾向がある。



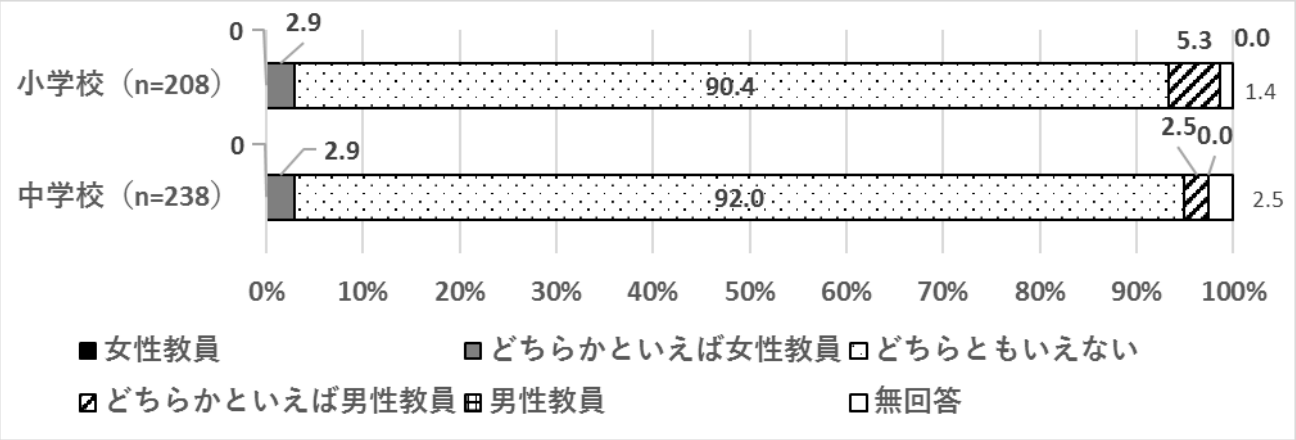
■育休の取りにくさ

・育休の取りにくさについてみると、「育児休暇は、男性教員の方が取りにくい」という意見が小学校・中学校ともに過半数以上を占めている。一方で「女性教員のほうが取りにくい」という意見については小学校・中学校ともに数％に留まっている。



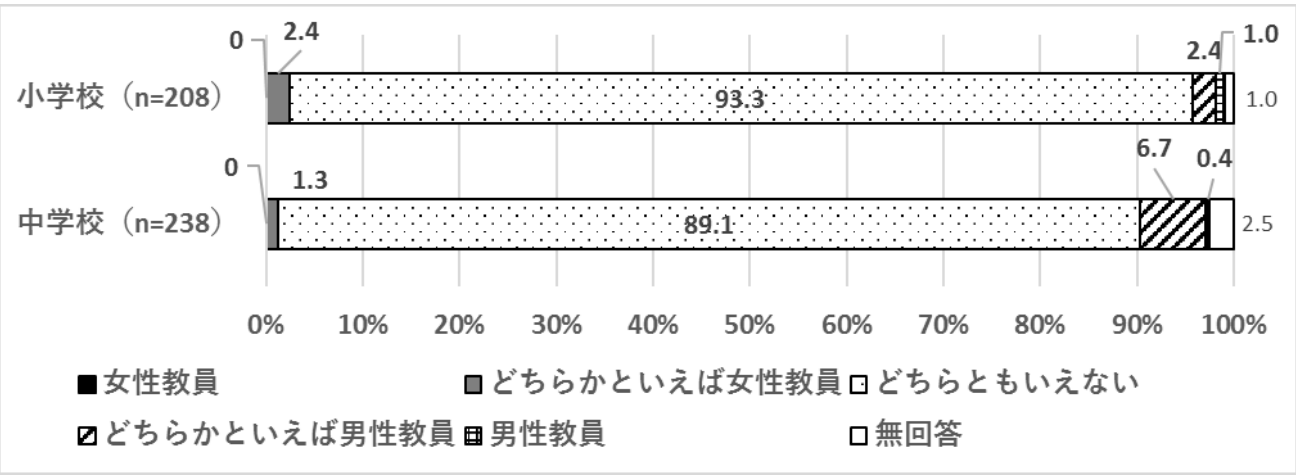
■保護者からの信頼の得やすさ

・保護者からの信頼の得やすさについてみると、小学校・中学校ともに９割以上の教員が「どちらともいえない」と答えている。また女性教員、男性教員と回答する人の割合もほぼ拮抗しており、性別で保護者からの信頼の得やすさは一概に決まらないと考えている。



■意見の通りやすさ

・意見の通りやすさについてみると、「保護者からの信頼の得やすさ」の回答と同じく、９割以上の教員が「どちらともいえない」と答えており、性別では一概に決まらないと考えているようだ。



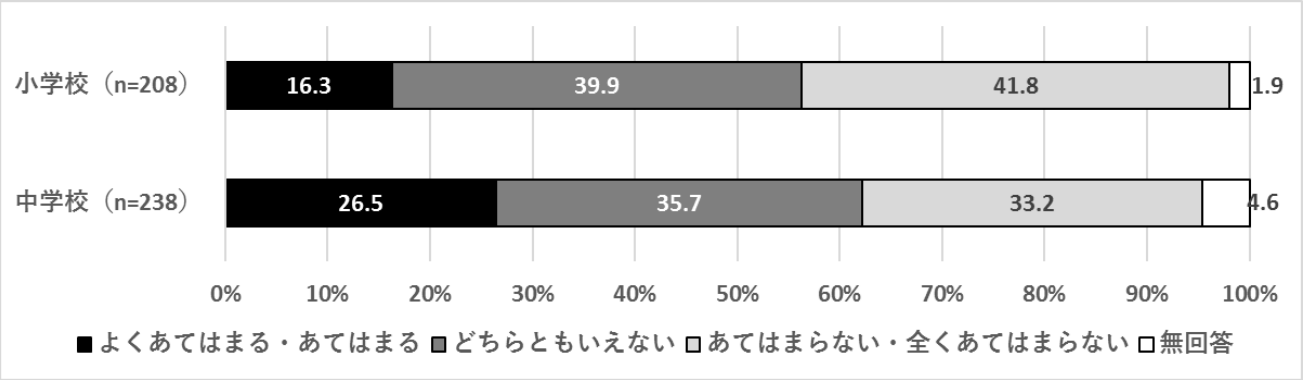
問５　あなたの児童／生徒に対する接し方等について、どの程度あてはまりますか。それぞれあてはまる数字１つに○をつけてください。

児童や生徒に対してジェンダーを基にした指導が行われているか尋ねたところ「くん、さん」の使い分けについては中学校では使い分けているようだ。その他の項目についてジェンダーを意識した指導が行われている割合は大きくない。ただし、「男子と女子のくくりで児童／生徒に対して指導することがある」を年代別に見ると、中学校の若年層の先生ではややジェンダーを意識した指導をする人が多い傾向がある。

【全体】

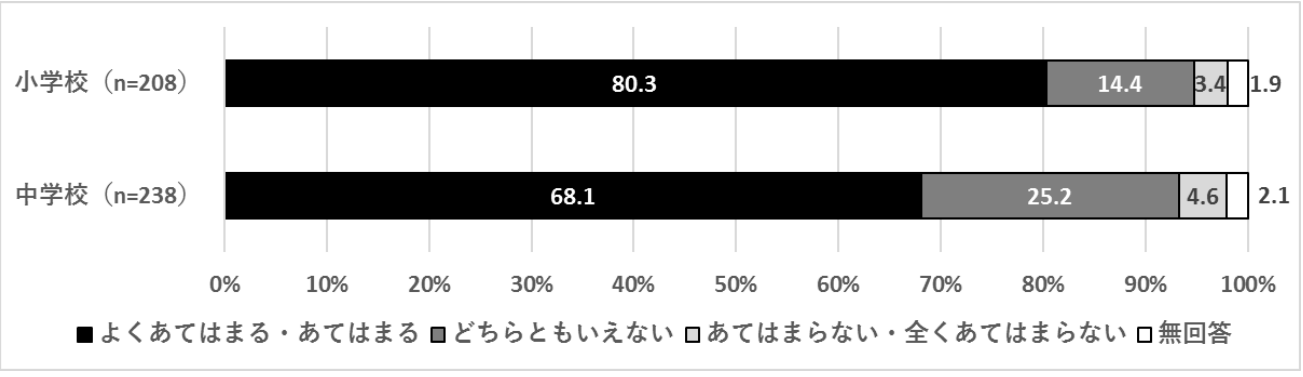
■男子と女子のくくりで児童／生徒に対して指導することがある

・男女別の指導：「どちらともいえない」が最も多いが、男女のくくりで指導する場合がある教員も小学校で１６．３%、中学校で２６．５%で、中学校教員の方がやや多い。



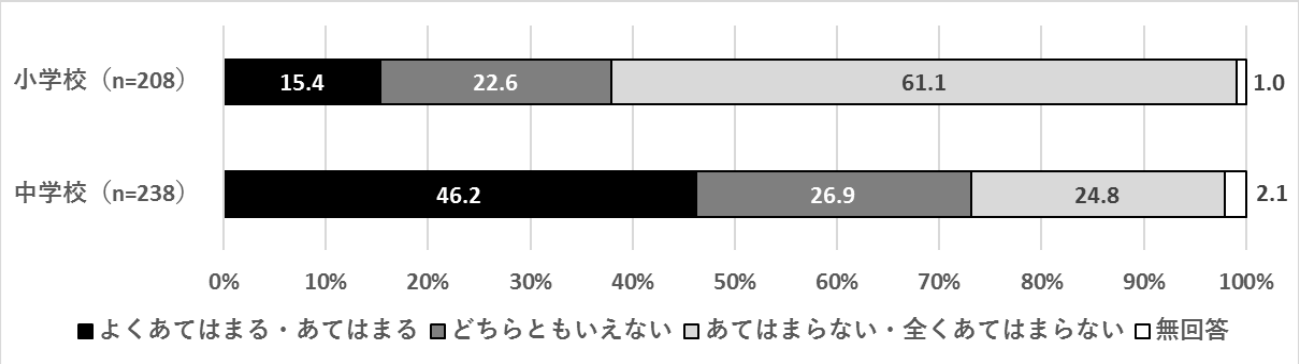
■児童／生徒に接するとき性別より先に個性をみるように心がけている

・性別よりも先に個性を見る：小中問わず、性別よりも個性をみるように心がけている教員が多い。



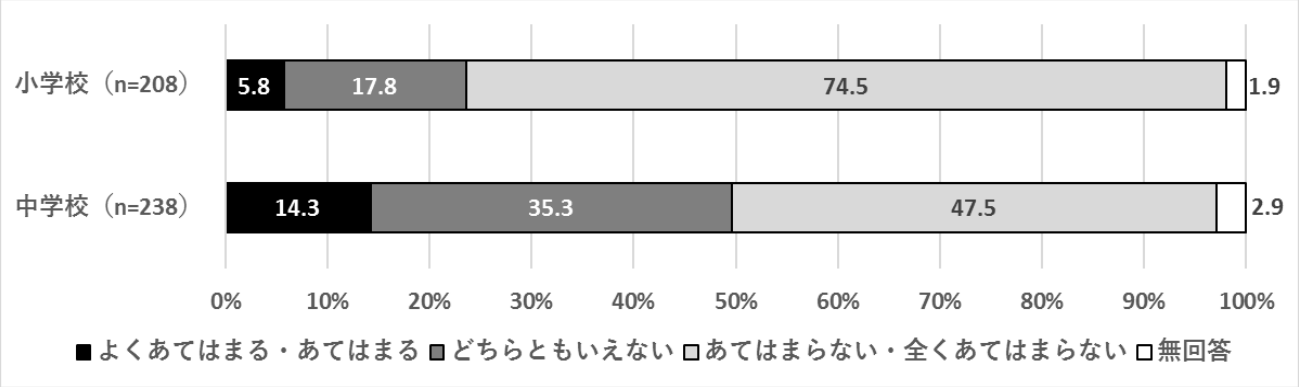
■男子に「くん」、女子には「さん」をつけて呼ぶ

・性別による「くん」「さん」の使い分け：全体的に回答にばらつきがある。あてはまる人が、小学校で１５．４%、中学校で４６．２%と、中学校の方が「くん」「さん」と呼び分けている教員が多い。



■名札やカードなど、学校で使用するものは男女で区別しやすいように色分けする

・色による区別：全体的にどちらともいえない、あてはまらない人が多いが、あてはまる人については小学校で５．８%、中学校で１４．３%と、中学校の方が男女による色分けをしている教員の割合が多い。



＜参考表＞

		よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	無回答
■男子と女子のくくりで児童/生徒に対して指導することがある	小学校	3.4	13.0	39.9	21.2	20.7	1.9
	中学校	5.0	21.4	35.7	17.6	15.5	4.6
■児童/生徒に接するとき性別より先に個性をみるように心がけている	小学校	40.9	39.4	14.4	1.0	2.4	1.9
	中学校	32.4	35.7	25.2	1.7	2.9	2.1
■男子に「くん」、女子には「さん」をつけて呼ぶ	小学校	3.4	12.0	22.6	22.6	38.5	1.0
	中学校	14.3	31.9	26.9	10.9	13.9	2.1
■名札やカードなど、学校で使用するものは男女で区別しやすいように色分けする	小学校	1.0	4.8	17.8	18.3	56.3	1.9
	中学校	1.7	12.6	35.3	20.2	27.3	2.9

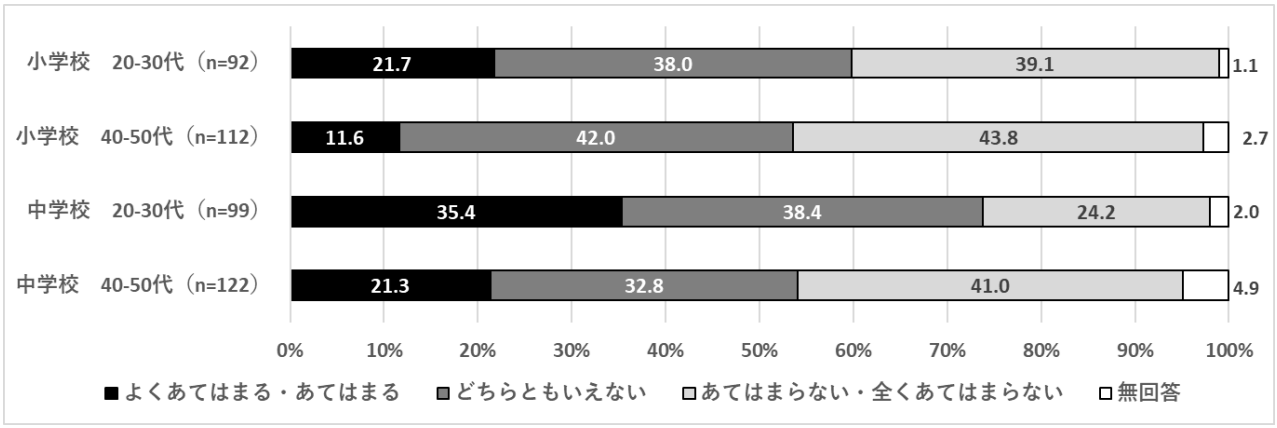
【問５　男女別の結果】

・教員の性別で分析した結果、特に男女による顕著な差はいずれの項目についても確認されなかった（図表は割愛）。

【問５　年代別の結果】

■男子と女子のくくりで児童／生徒に対して指導することがある

・男子と女子のくくりで児童／生徒に対して指導することがある教員は全体的には少ないが、中学校の２０-３０代の教員であてはまる人がやや多い。

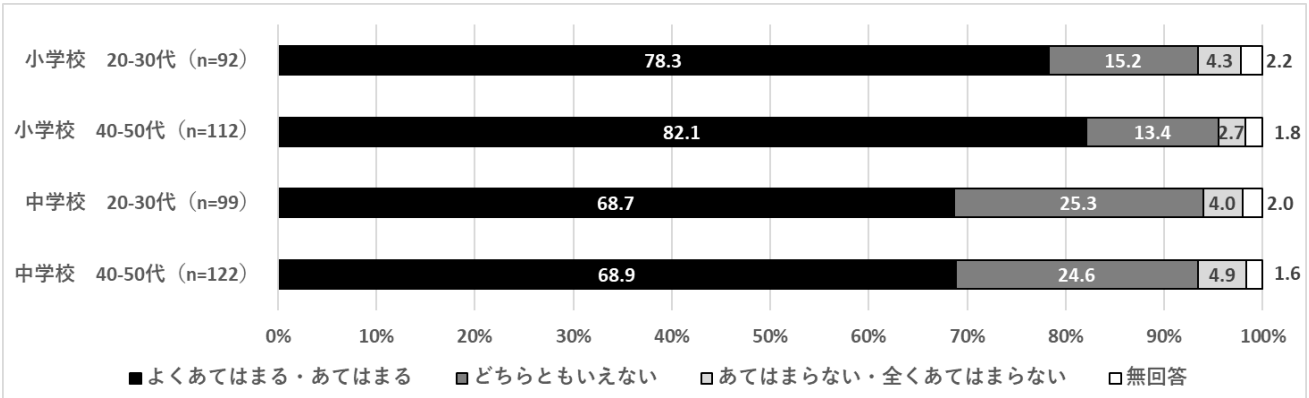


＜参考表＞

			よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	無回答
■男子と女子のくくりで児童/生徒に対して指導することがある	小学校	20-30代	3.3%	18.5%	38.0%	22.8%	16.3%	1.1%
	小学校	40-50代	3.6%	8.0%	42.0%	19.6%	24.1%	2.7%
	中学校	20-30代	9.1%	26.3%	38.4%	16.2%	8.1%	2.0%
	中学校	40-50代	2.5%	18.9%	32.8%	19.7%	21.3%	4.9%

■児童／生徒に接するとき、性別より先に個性をみるように心がけている

小中学校とも、年代別による違いは顕著に見られない。

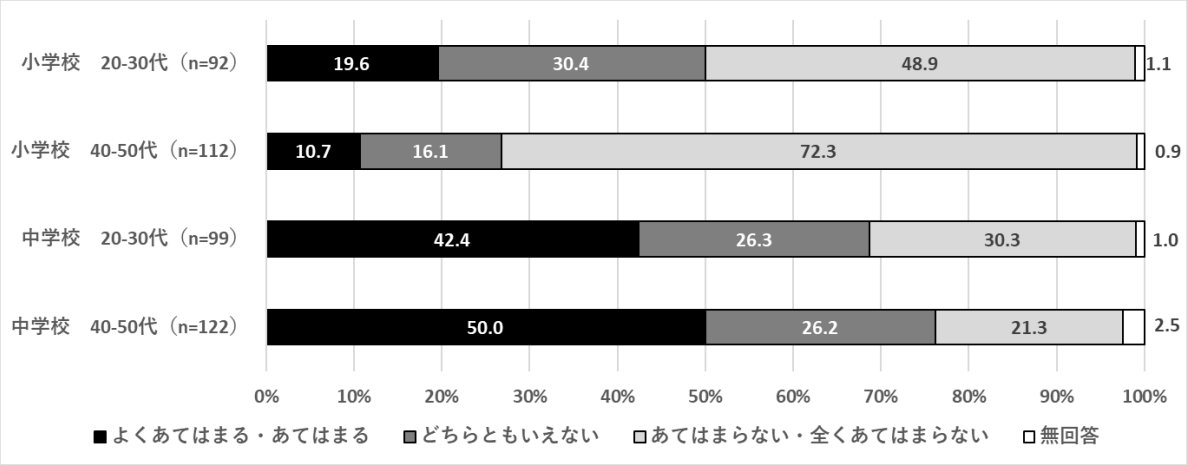


＜参考表＞

			よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	無回答
■児童生徒に接するとき、性別より先に個性をみるよう心がけている	小学校	20-30代	35.9%	42.4%	15.2%	2.2%	2.2%	2.2%
	小学校	40-50代	46.4%	35.7%	13.4%	0.0%	2.7%	1.8%
	中学校	20-30代	37.4%	31.3%	25.3%	2.0%	2.0%	2.0%
	中学校	40-50代	31.1%	37.7%	24.6%	1.6%	3.3%	1.6%

■男子に「くん」、女子には「さん」をつけて呼ぶ

・中学校では年代による差は大きくない。小学校では２０-３０代の教員の方が４０-５０代の教員に比べると、男女で「くん」「さん」をつけて呼びわける教員がやや多い。

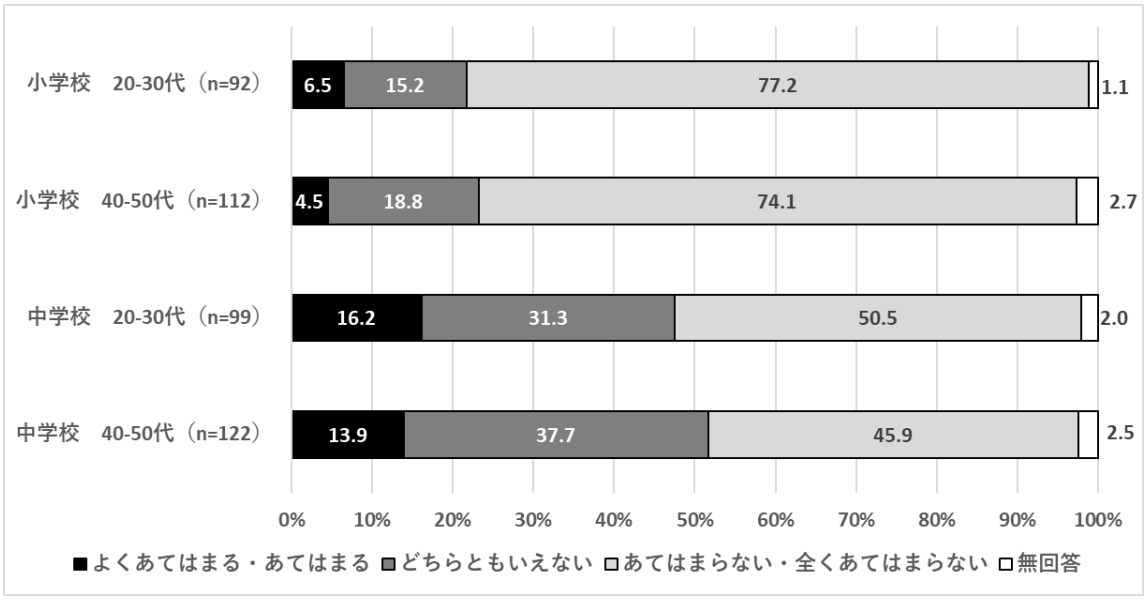


＜参考表＞

			よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	無回答
■男子に「くん」、女子には「さん」をつけて呼ぶ	小学校	20-30代	4.3%	15.2%	30.4%	18.5%	30.4%	1.1%
	小学校	40-50代	2.7%	8.0%	16.1%	25.9%	46.4%	.9%
	中学校	20-30代	11.1%	31.3%	26.3%	14.1%	16.2%	1.0%
	中学校	40-50代	18.9%	31.1%	26.2%	9.0%	12.3%	2.5%

■名札やカードなど、学校で使用するものは、男女で区別しやすいように色分けする

・小中学校とも、年代による顕著な差はみられない。



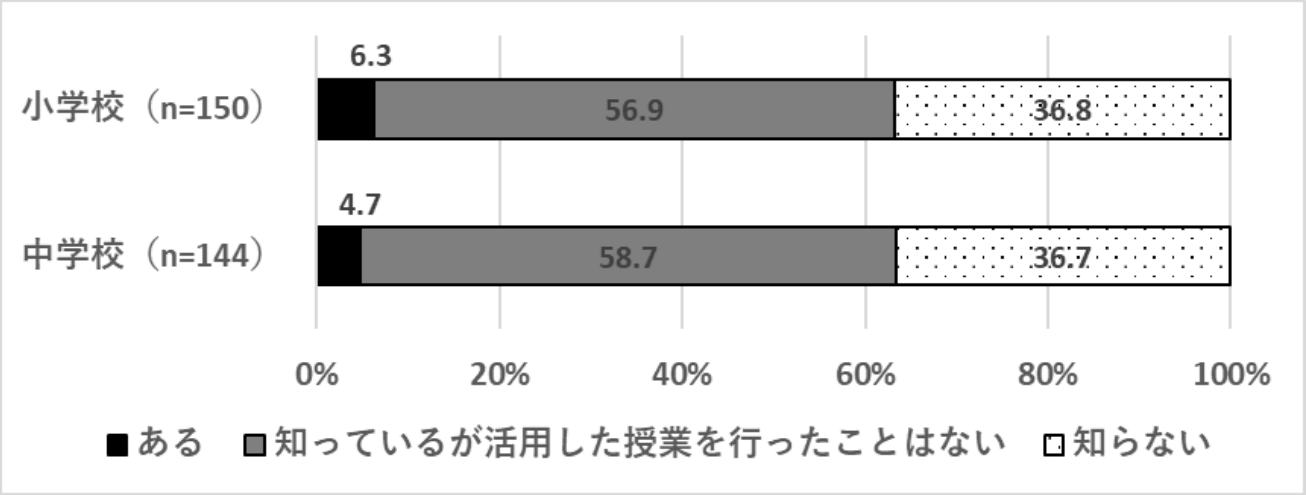
＜参考表＞

			よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	無回答
■名札やカードなど、学校で使用するものは男女で区別しやすいように色分けする	小学校	20-30代	2.2%	4.3%	15.2%	22.8%	54.3%	1.1%
	小学校	40-50代	0.0%	4.5%	18.8%	14.3%	59.8%	2.7%
	中学校	20-30代	0.0%	16.2%	31.3%	19.2%	31.3%	2.0%
	中学校	40-50代	3.3%	10.7%	37.7%	21.3%	24.6%	2.5%

【この質問は学級担任をされている方のみお答えください】

問６　あなたは、昨年度または今年度に、滋賀県が発行している「男女共同参画教材指導のてびき」を活用して授業を行ったことはありますか。あてはまる数字１つに○をつけてください。

「男女共同参画教材指導の手引」を使ったことがあるのは小学校・中学校とも５%前後にとどまる。さらに、約４割の教員が存在を知らないでいることが明らかとなった。

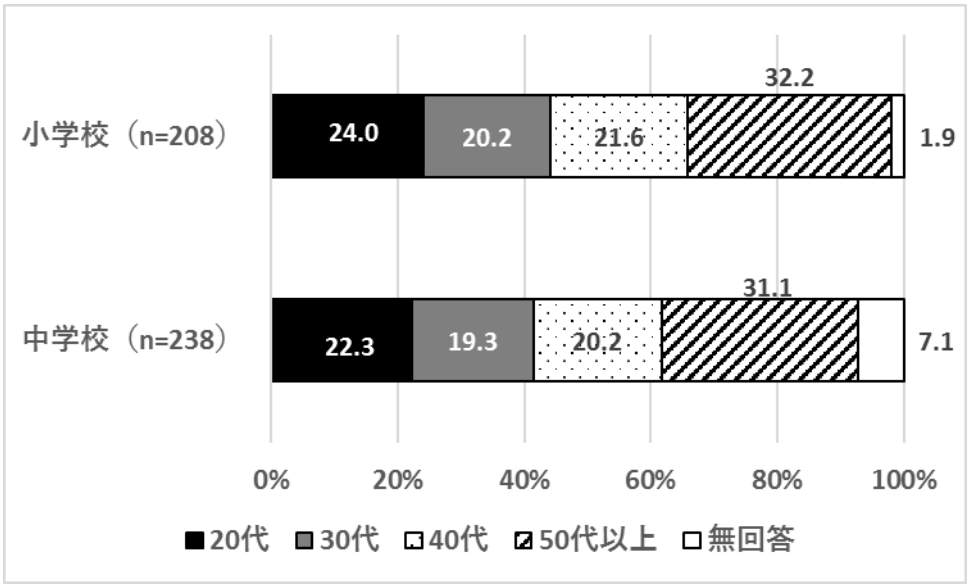


問７　あなたの年齢と性別について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

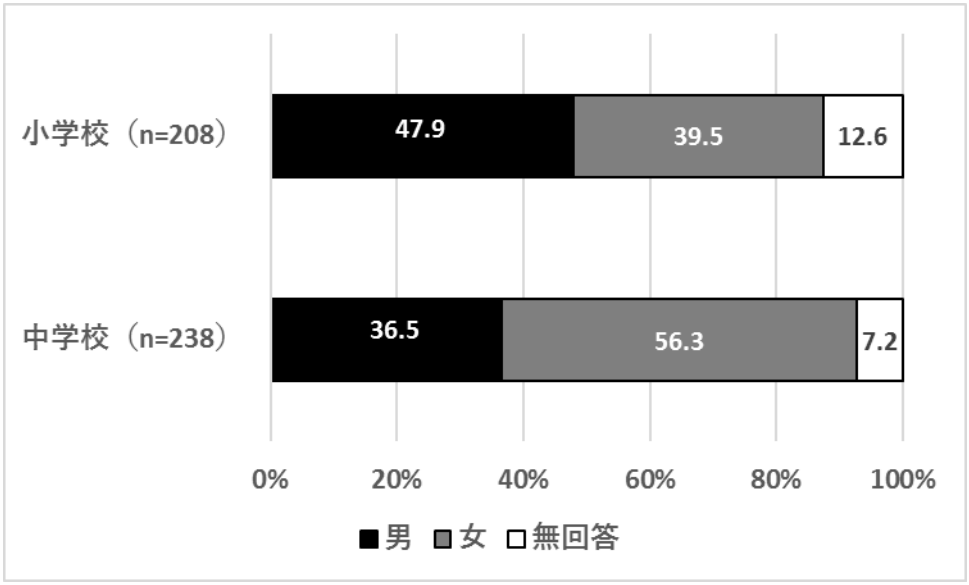
■年齢（20 代　30 代　40 代　50 代以上）

■性別（男　女）

【年齢】



【性別】



問８　この調査に関するご意見や学校における男女共同参画に関するご意見があれば、自由にご記入ください。

小学校では 208 人中 30 人から意見が寄せられた。

●アンケートに対する批判的意見など…13 件
●これからの姿勢について言及しているもの…6 件
●現状について言及しているもの…3 件
●特になし…8件

中学校では 238 人中 52 人から意見が寄せられた。

●アンケートに対する批判的意見など…29 件
●これからの姿勢について言及しているもの…10 件
●現状について言及しているもの…9 件
●特になし…4 件

資料：調査票（小学生票）

小学生票

«小学生番号»

大津市の児童会長・生徒会長の

選び方などについての調査

世界の国々で、男女がどれくらい平等に活躍しているかを調べた結果によると、日本は１４９カ国の中で１１０位という低い結果でした。

そこで小学校では、運営委員長 や 会長 の選び方などについて、アンケート調査をしますのでご協力をお願いします。

令和元年７月
大津市長　越　直美
大津市教育委員会

アンケートに答える前にかならず読んでください

1．答えは、あなたが自分の考えで書いてください。
2．名前を書く必要はないので、だれのものか分かることはありません。
3．**答えられない質問や答えたくないと思った質問は、とばしても大丈夫**です。
4．テストではありませんので、いつも感じていることや考えていることを、そのまま書いてください。
5．あなたが書いた内容は、先生や友達に見せる必要はありません。
6．書き終わったら、封筒に入れて先生に渡してください。

この調査についてのわからないことがありましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ
大津市政策調整部　人権・男女共同参画課
電話０７７－５２８－２７９１

調査は次のページからはじまります

小学生票

1 あなたの性別にあてはまる数字を○でかこんでください。

1 おんな　2 おとこ

2 あなたの学校のそれぞれの係について、女子と男子とどちらが良いと思いますか。あてはまる数字1つを○でかこんでください。

■ 体育の授業の時、体操をみんなの前でする係（体育係）	1 女子	2 男子	3 どちらでもよい	4 そのような係はない
■ 気分の悪い人を保健室に連れていく係（保健係）	1 女子	2 男子	3 どちらでもよい	4 そのような係はない
■ 図書室で貸し出しをする係（図書係）	1 女子	2 男子	3 どちらでもよい	4 そのような係はない
■ 児童会や運営委員会の**会長や委員長**	1 女子	2 男子	3 どちらでもよい	4 そのような係はない
■ 児童会や運営委員会の**副会長や副委員長**	1 女子	2 男子	3 どちらでもよい	4 そのような係はない

3 もし児童会長や運営委員長をするチャンスがあれば、あなたはやりたいと思いますか。あてはまる数字1つを○でかこんでください。

1 やりたい　2 やりたくない　3 よくわからない

4 **「やりたい」と答えた理由**について、あてはまる数字すべてに○をしてください。

1 会長や運営委員長になって、やってみたいことがあるから
2 周りを引っ張ってまとめていきたいから
3 みんなの話をまとめることが好きだから
4 目立ちたいから
5 人気者になれるから
6 その他（　　）

5 **「やりたくない」と答えた理由**について、あてはまる数字すべてに○をしてください。

1 興味がないから
2 副委員長や副会長のほうがいいから
3 ほかにやりたい係があるから
4 クラブや部活などほかにやりたいことがあるから
5 目立ちたくないから
6 ほかの人と競争するのがいやだから
7 その他（　　）

小学生票

6 児童会長や運営委員長を誰もが気軽に「やってみたい」と思える選び方について、あてはまる数字1つを○でかこんでください。また、そう思う理由について書いてください。わからないときは、書かなくてかまいません。

1 委員長や会長になりたいと立候補した人の中から、全校児童で選挙して決める 2 運営委員会の委員のうち、委員長や会長になりたいと立候補した人の中から、運営委員が決める 3 運営委員会の委員のうち、委員長や会長に一番ふさわしい人を、運営委員が決める。 4 その他（　　）
理由：

7 次のことがらで、あてはまる数字1つを○でかこんでください。

■ 授業でよく発言する	1 女子が多い	2 男子が多い	3 わからない
■ 班長やクラスの代表などのリーダー	1 女子が多い	2 男子が多い	3 わからない
■ 意見が通りやすい	1 女子が多い	2 男子が多い	3 わからない
■ グループで行動する	1 女子が多い	2 男子が多い	3 わからない

8 あなたの学校について、あてはまる数字1つを○でかこんでください。

■ 先生は、女子も男子も同じように接している	1そう思う	2そう思わない	3わからない
■ 先生から、男だから○○した方が良い、女だから○○した方が良いと言われることがある	1そう思う	2そう思わない	3わからない

9 自分のことについて、あてはまる数字1つを○でかこんでください。

■ みんなを引っ張っていくことが多い	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない
■ 意見が分かれた時は友達にあわせる	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない
■ 何かをするとき、失敗がこわくて迷う	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない
■ 自分の意見をいつもはっきり言う	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない
■ みんなと違っても、自分が考えた通りにやる	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない

10 あなたが将来つきたい職業は何ですか。いくつでも書いてください。わからなければ書かなくてもかまいません。

調査はこれでおわりです。どうもありがとうございました。

封筒に入れて先生に渡してください。

資料：調査票（中学生票）

中学生票

«中学生番号»

大津市の児童会長・生徒会長の
選び方などについての調査

２０１８世界経済フォーラムが発表した世界各国の男女平等の度合いを数値化した格差指標（ジェンダーギャップ指数）では、日本は、１４９か国中、１１０位という低い結果となっています。それは、日本における、政治や経済分野における女性の比率の低さなどが原因です。

本市の中学校においても、生徒会会長における女子生徒の割合（２０１８）は、１１．１％であり、とても低い比率となっています。

これらから、ジェンダーギャップ（男女間格差）の原因が、いつ、どのようにして生まれてきたのかを調査・分析するため、児童会長・生徒会長の選び方などについてのアンケート調査を実施しますので、ご協力をお願いします。

令和元年７月
大津市長　越　直美
大津市教育委員会

アンケートに答える前に必ずお読みください

1．答えは、あなたが自分の考えで書いてください。
2．名前を書く必要はないので、だれのものか分かることはありません。
3．**答えられない質問や、答えたくないと思った質問は、とばしても大丈夫**です。
4．テストではありませんので、いつも感じていることや考えていることを、そのまま書いてください。
5．あなたが書いた内容は、先生や友達に見せる必要はありません。
6．書き終わったら、封筒に入れて先生に渡してください。

この調査についてのわからないことがありましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ
大津市政策調整部　人権・男女共同参画課
電話０７７－５２８－２７９１

調査は次のページからはじまります

中学生票

1 あなたの性別にあてはまる数字を○でかこんでください。

1 おんな　2 おとこ

2 あなたの学校のそれぞれの係について、女子と男子とどちらが良いと思いますか。あてはまる数字1つを○でかこんでください。

■ 体育の授業の時、体操をみんなの前でする係（体育係）	1女子	2男子	3どちらでもよい	4そのような係はない
■ 気分の悪い人を保健室に連れていく係（保健係）	1女子	2男子	3どちらでもよい	4そのような係はない
■ 図書室で貸し出しをする係（図書係）	1女子	2男子	3どちらでもよい	4そのような係はない
■ 生徒会の**会長**	1女子	2男子	3どちらでもよい	4そのような係はない
■ 生徒会の**副会長**	1女子	2男子	3どちらでもよい	4そのような係はない

3 もし生徒会の会長をするチャンスがあれば、あなたはやりたいと思いますか。あてはまる数字1つを○でかこんでください。

1 やりたい　2 やりたくない　3 よくわからない

4 **「やりたい」と答えた理由**について、あてはまる数字すべてに○をしてください。

1 会長になって、やってみたいことがあるから
2 周りを引っ張ってまとめていきたいから
3 みんなの話をまとめることが好きだから
4 目立ちたいから
5 人気者になれるから
6 内申点を上げたいから
7 その他（　　）

5 **「やりたくない」と答えた理由**について、あてはまる数字すべてに○をしてください。

1 興味がないから
2 副会長のほうがいいから
3 ほかにやりたい係があるから
4 クラブや部活などほかにやりたいことがあるから
5 目立ちたくないから
6 ほかの人と競争するのがいやだから
7 その他（　　）

中学生票

6 生徒会の会長を誰もが気軽に「やってみたい」と思える選び方について、あてはまる数字1つを○でかこんでください。また、そう思う理由について書いてください。わからない時は、書かなくてかまいません。

1 会長になりたいと立候補した人の中から、全校生徒で選挙して決める 2 生徒会執行部員のうち、会長になりたいと立候補した人の中から、生徒会執行部員が決める 3 生徒会執行部員のうち、会長に一番ふさわしい人を、生徒会執行部員が決める 4 その他（ ）
理由：

7 次のことがらで、あなたのクラスであてはまる数字1つを○でかこんでください。

■ 授業でよく発言する	1 女子が多い	2 男子が多い	3 わからない
■ 班長やクラスの代表などのリーダー	1 女子が多い	2 男子が多い	3 わからない
■ 意見が通りやすい	1 女子が多い	2 男子が多い	3 わからない
■ グループで行動する	1 女子が多い	2 男子が多い	3 わからない

8 あなたの学校について、あてはまる数字1つを○でかこんでください。

■ 先生は、女子も男子も同じように接している	1そう思う	2そう思わない	3わからない
■ 先生から、男だから○○した方が良い、女だから○○した方が良いと言われることがある	1そう思う	2そう思わない	3わからない

9 自分のことについて、あてはまる数字1つを○でかこんでください。

■ みんなを引っ張っていくことが多い	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない
■ 意見が分かれた時は友達にあわせる	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない
■ 何かをするとき、失敗がこわくて迷う	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない
■ 自分の意見をいつもはっきり言う	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない
■ みんなと違っても、自分が考えた通りにやる	1あてはまる	2どちらともいえない	3あてはまらない

10 あなたが将来つきたい職業は何ですか。いくつでも書いてください。わからなければ書かなくてもかまいません。

調査はこれでおわりです。どうもありがとうございました。
封筒に入れて先生に渡してください。

資料：調査票（教員票）

教員票

«番号»

小中学校における児童生徒のリーダーシップおよび男女共同参画に関する調査

大津市立小・中学校教員の皆様へ

この調査は、大津市立小中学校における児童生徒のリーダーシップの男女差について、また職場環境の男女共同参画状況について把握することを目的にしています。

ご回答いただいた内容は統計的に処理され、結果から回答者個人が特定されることはありません。また、集計したデータは、大津市が今後の施策形成のために使用致します。

答えたくない質問がございましたら、回答を飛ばしていただいても構いません。回答にかかる時間はおよそ5分～10分程度となっております。

お忙しいところ大変恐れ入りますが、なにとぞ調査にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年7月
大津市長　越　直美
大津市教育委員会

■ご記入に際してのお願い■

1．ご記入は、鉛筆または黒・青のボールペンでお願いいたします。
2．質問は、回答選択肢の番号に1つだけ○をつける場合や複数つけてよい場合、自由に記入いただく場合などがありますので、各質問の指示に従ってご回答ください。
3．ご記入が終わりましたら、封筒に入れて封をし、それぞれの学校の指示に従って担当の方にお渡しください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

【お問い合わせ】
大津市政策調整部　人権・男女共同参画課
〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号
電 話：０７７－５２８－２７９１
メール：otsu1006@city.otsu.lg.jp

教員票

問1　児童会長（運営委員長）や生徒会長について、男子、女子別に考えて、特に心配なことがあれば、○をつけてください。

	男子の場合	女子の場合
A　男子委員との協力ができるか		
B　女子委員との協力ができるか		
C　教員との協力ができるか		
D　リーダーシップが発揮できるか		
E　実行性のある提案ができるか		
F　生徒からの信頼が得られるか		
G　特に心配なことはない		

問2　それぞれの役割について、児童／生徒の性別によって勧めやすい役割がありますか。それぞれあてはまる数字1つに○をつけてください。

	女子	どちらかといえば女子	どちらでもよい	どちらかといえば男子	男子
A　児童／生徒会　会長	1	2	3	4	5
B　児童／生徒会　副会長	1	2	3	4	5
C　班長や委員長など	1	2	3	4	5

問3　大津市の小学校では、児童会長（運営委員長）は男女半々ですが、中学校では生徒会長は女子の方が少ないという現状があります。なぜ中学校では男子より女子の生徒会長が少ないか、思い当たる理由があれば教えてください。

問4　職場での役割や職場環境について述べた以下の文章のうち、女性教員と男性教員ではどちらがあてはまりますか。それぞれあてはまる数字1つに○をつけてください。

	女性教員	どちらかといえば女性教員	どちらともいえない	どちらかといえば男性教員	男性教員
A　教務主任や学年主任など、主任の役割	1	2	3	4	5
B　育児休業の取りにくさ	1	2	3	4	5
C　意見の通りやすさ	1	2	3	4	5
D　保護者からの信頼の得やすさ	1	2	3	4	5

教員票

問５　あなたの児童／生徒に対する接し方等について、どの程度あてはまりますか。それぞれあてはまる数字１つに○をつけてください。

	よくあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない
A　男子と女子のくくりで児童／生徒に対して指導することがある	1	2	3	4	5
B　児童／生徒に接するとき、性別より先に個性をみるように心がけている	1	2	3	4	5
C　男子に「くん」、女子には「さん」をつけて呼ぶ	1	2	3	4	5
D　名札やカードなど、学校で使用するものは、男女で区別しやすいように色分けする	1	2	3	4	5

【この質問は学級担任をされている方のみお答えください】

問６　あなたは、昨年度または今年度に、滋賀県が発行している「男女共同参画教材指導のてびき」を活用して授業を行ったことはありますか。あてはまる数字１つに○をつけてください。

１　ある　　２　知っているが活用した授業を行ったことはない　　３　知らない

問７　あなたの年齢と性別について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

■年齢（20 代　30 代　40 代　50 代以上）

■性別（男　女）

問８　この調査に関するご意見や学校における男女共同参画に関するご意見があれば、自由にご記入ください。

質問は以上です。お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。